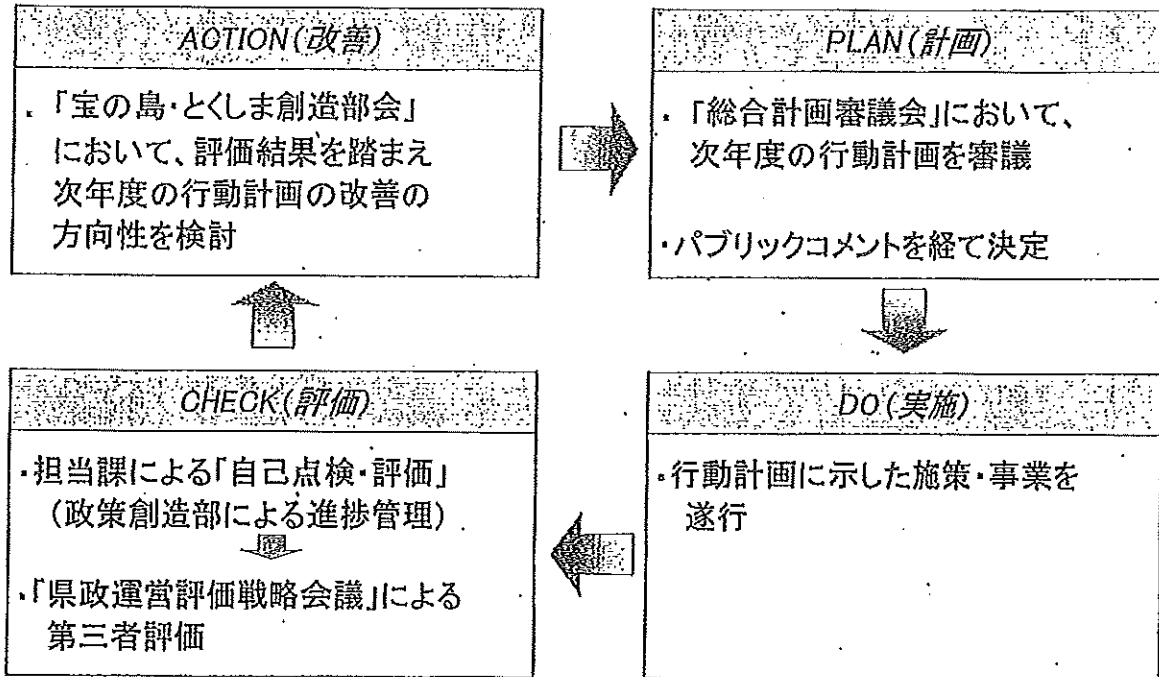


「いけるよ！ 徳島・行動計画」(平成25年度版) の改善見直し(案)の概要について

1 行動計画のマネジメント・サイクル



2 改善見直し(案)の概要

- ・県政運営評価戦略会議より指摘された事項の見直し
- ・社会経済情勢の変化に即応した、県民ニーズに応え得る施策展開 を基本方針とし、

「行動計画編」に位置付けられた主要事業及び数値目標のうち、126件について改善見直しを行う。

	現行 a	今回改善見直し(案)			改善見直し 後 a+b
		新設 b	修正 c	計 b+c	
主要事業数	744	6	37	43	750
数値目標数	807	18	65	83	825

合計126件※

※上記件数以外に、正式名称の決定など「名称変更に伴う文言修正のみのもの」27件

【改善見直しの主な項目】

- 県政運営評価戦略会議において「C、D評価」を受けた主なもの
(D評価) 目的達成のためには新たな取組の追加が必要とされたもの
- ・ アンテナショップの展開など県産品の情報発信
→ 数値目標の表現をより分かり易く変更
ネット販売をさらに充実するよう主要事業を変更 ※ (2p)
 - ・ 特定民間建築物の耐震化
→ 新たに耐震化が必要な民間建築物のリストを作成するよう主要事業を変更 (12p)
- (C評価) 取組内容の見直しが必要とされたもの
- ・ 「チャーター便による外国人誘客」、「医療観光の推進」※
→ 重点エリア拡大等の「新たなグローバル戦略」の展開に見直し (3p)
 - ・ 介護サービス従事者研修
→ リーダー的人材育成に重点化するよう数値目標を変更 (19p)
 - ・ 防災教育の推進
→ 防災クラブ設置を加速するため25年度数値目標を上方修正 (32p)

● 主要事業・数値目標の新設・修正の主なもの

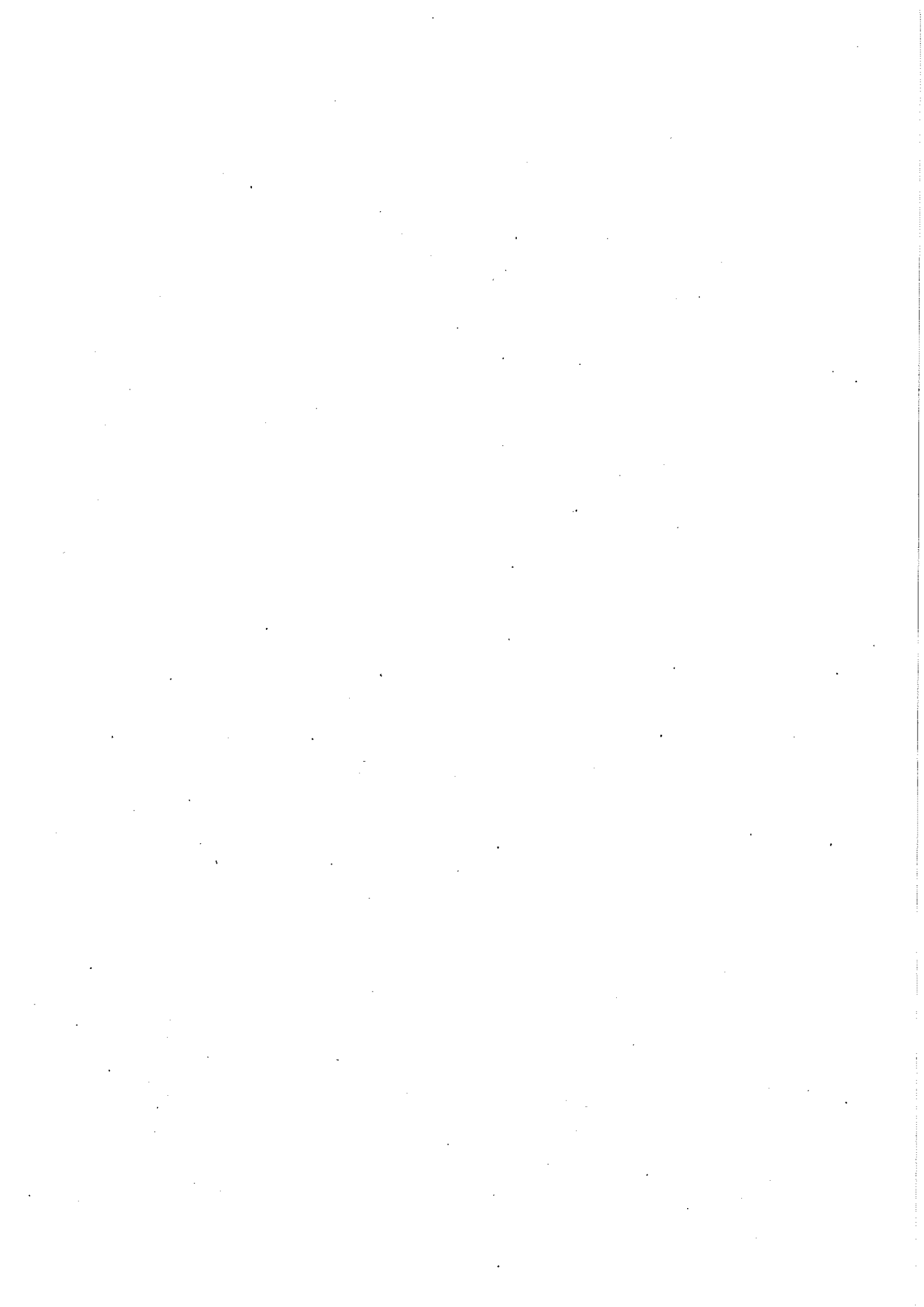
- ① 主要事業の新設 (6件)
- ・ 津波・塩害対策農業版BCP策定 (12p)
 - ・ 鳴門病院の地方独立行政法人化 (13p)
 - ・ 四国新幹線実現への取組 (23p)
- ② 数値目標の新設 (18件)
- ・ 野菜の作付け面積拡大 (8p)
 - ・ 三好病院緩和ケア病棟の整備 (13p)
 - ・ 県外からの移住者数 (22p)
- ③ 主要事業、数値目標の修正 (102件)
- ・ 認定農業者関連 ※
人・農地プランに位置づけられる地域の中心となる経営体に修正 (5p)
 - ・ 太陽光発電等導入促進
自然エネルギー導入促進、県営メガソーラー発電について追記 (14p)
 - ・ 森林を守る施策の強化
森林を守る条例(仮称)の制定に取り組み、施策展開を強化 (18p)
 - ・ 子ども育み施策の推進
徳島県子どもはぐくみ条例(仮称)に基づき、総合的かつ計画的に推進 (18p)
- ③のうち数値目標の上方修正 (46件)
- ・ 自殺予防サポーター養成者数 (29p)
 - ・ 鳥獣被害対策(イノシシ・シカの処理加工施設数など) (31p)
 - ・ マチ☆アソビ年間参加者数 (34p)

※印は、「宝の島・とくしま創造部会」での意見反映

「いけるよ！徳島・行動計画」(平成25年度版)の改善見直し(案)

平成25年2月12日

徳島県総合計画審議会



(1) 主要事業や数値目標の新規設定及び修正を行う項目
※下記(2)、(3)を除く

..... 1

(2) 数値目標の上方修正のみの項目

..... 25

(3) 名称変更に伴う文言修正のみの項目

..... 36

改善見直し件数一覧表

基本目標	現行 主要事業数 (数値目標数) a	今回改善見直し(案)			【参考】 改善見直し後 主要事業数 (数値目標数) a + b
		新設 主要事業数 (数値目標数) b	修正 主要事業数 (数値目標数) c	合計 主要事業数 (数値目標数) b + c	
① 「にぎわい・感動 とくしま」	103 (109)	0 (2)	6 (8)	6 (10)	103 (111)
② 「経済・新成長 とくしま」	128 (160)	0 (4)	9 (18)	9 (22)	128 (164)
③ 「安心・安全 とくしま」	151 (179)	5 (6)	3 (6)	8 (12)	156 (185)
④ 「環境首都・先進 とくしま」	100 (116)	0 (3)	8 (11)	8 (14)	100 (119)
⑤ 「みんなが主役・ 元気とくしま」	72 (79)	0 (1)	4 (3)	4 (4)	72 (80)
⑥ 「まなびの邦・ 育みとくしま」	84 (76)	0 (1)	2 (8)	2 (9)	84 (77)
⑦ 「宝の島・創造 とくしま」	106 (88)	1 (1)	5 (11)	6 (12)	107 (89)
合計	744 (807)	6 (18)	37 (65)	43 (83)	750 (825)

(1) 主要事業や数値目標の新規設定及び修正を行う項目

計画の位置付け	該当箇所	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		都局
				主要事業名・事業概要・数値目標	改善見直しの概要	主要事業名・事業概要・数値目標	改善見直しの概要	
1-1	(下) P3	(泉政道営評価戦略会議) リーマンショック以降の日本経済の低迷等で、大鷗門橋の通行台数が少なく、平成21年度の乗降率を下げたこと、また、平成23年度の取組、今後の取組について見えないことから、C解題と	(文営の修正) 高速道路新料金(休日上限千円の特別割引制度)が平成23年6月に終了したため、平成26年度の全国一律料金制度の実現を見据え、取組を推進すること、また、宿泊者数増のための取組としての「滞在型観光の推進」のための取組を追加するため主要事業を見直す。	<p>● 高速道路新料金を最大限に活用し、徳島の経済活性化やにぎわいづくりを促すため、活用職路を策定し、「県外からの観光誘客対策」及び「物流活性化による産業振興対策」を推進します。</p> <p>○大鷗門橋の通行台数 [21]852万台→[26]1,000万台</p> <p>○年間延べ宿泊者数 [21]120万人→[26]148万人</p>	<p>● 本四島渡への全国共通料金の導入を思培え、徳島の経済活性化や交流型観光に回した「県外からの観光誘客対策」及び「滞在型観光の推進」並びに「物流活性化による産業振興対策」を推進します。</p> <p>○大鷗門橋の通行台数 [21]852万台→[26]1,000万台</p> <p>○年間の延べ宿泊者数 [21]120万人→[26]148万人</p>	政策・商工・県土		
1-2	(下) P10	高速道路新料金(休日上限千円の特別割引制度)が終了したことで、及び幅広い高速道路利用者対象とするため主要事業を見直す。	文営の修正	<p>● 高速道路新料金制度導入を最大限に活用し、県外からの観光入込客数の増加を図るため、マイカーを利用して来県する観光客に対する新たな観光周遊ルートや宿泊滞在型観光プランの提案など、観光誘客対策を推進します。</p> <p>○年間の延べ宿泊者数 [21]120万人→[26]148万人</p>	<p>● 本四島渡への全国共通料金の導入を思培え、県外からの観光入込客数の増加を図るため、来県する観光客に対する新たな観光周遊ルートや宿泊滞在型観光プランの提案など、観光誘客対策を推進します。</p> <p>○年間の延べ宿泊者数 [21]120万人→[26]148万人</p>	商工		

該当箇所		改訂見直しの趣旨	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		部局
計画の位置付け	該当頁			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標		
1-2	(上) P63 (下) P10	「徳島ならではの魅力」につき具体的なイメージがわかりやすいよう主要事業の文章を再編する。 「阿波ナビ」アクセス件数について、平成23年度の実績値が目標数値を大きく上回っており、24年度の実績見込みも目標数値を上回ると推計されるため、更なる利用の拡大を目標し、目標数値を上方修正を行う。	文書の修正、数値目標の上方修正	●徳島ならではの魅力を「観光とくしまプラン」において確立し、多くの観光客に選ばれる徳島を目標として、「きて・みて・なっとく！おいでよ徳島」をキャッチコピーに、「益民遺産」「自然一帯」といったテーマを広くPRすることにより、マスメディア等を活用した広報宣伝を強化することにより、広く国内外に向けた認知度の向上を図ります。	●「関西の合所」を担う「食の宝島」であり、「体験型観光の先進地でもある」徳島ならではの魅力を「観光とくしまブランド」として確立し、多くの観光客に選ばれる徳島を目標として、「きて・みて・なっとく！おいでよ徳島」をキャッチコピーに、「庶民遺産」「自然一帯」というブランドイメージを広くPRするとともに、マスメディア等を活用した広報宣伝を実施することにより、広く国内外に向けた認知度の向上を図ります。			商工
			○外国人入込客数 [21]15,034人→[26]33,000人	○外国人入込客数 [21]15,034人→[26]33,000人	○外国人入込客数 [21]15,034人→[26]33,000人			
			○「阿波ナビ」アクセス件数 [21]45万件→[26]150万件	○「阿波ナビ」アクセス件数 [21]45万件→[26]150万件	○「阿波ナビ」アクセス件数 [21]45万件→[26]150万件			
1-2	(上) P63 (下) P11	(県政運営評価戦略会議) 「阿波ナビ」の全国展開を目標としており、全国展開を促進する必要があるため、目標達成に向けては、現地の取組では、目標を達成できないものと思われる。そのため、新たな対策を追加し取組む必要がある。 (室の島・とくしま創造部会) アンテナショップの展開に加えて、ネットショップの充実などインターネットを活用しての情報発信に取り組みが必要がある。	(文言の修正、数値目標の修正) 本事業は、大都市圏において情報発信拠点の整備を実施し、全国に向けて徳島県産品の情報発信を行う事業である。現在実施している「阿波ナビ」や民間店舗型「阿波ナビ」や民間店舗型「阿波ナビ」等を活用するほか、インターネット販売をさらに充実させることにより、今後とも全国に向けての情報発信を行う。また、現在の「全国展開」の表現について、誤解をあたえぬため修正を図る。	●全国に向けた本県の物産・観光の情報発信を推進するため、県の「大阪・名古屋物産センター」や、全国初となる展開を促進するとともに、県外の民間店舗を県が「阿波ナビ」により展開し、官民協働による、アンテナショップの展開を図ります。	●全国に向けた本県の物産・観光の情報発信を推進するため、県の「大阪・名古屋物産センター」や、全国初となる展開を促進するとともに、県外の民間店舗を県が「阿波ナビ」により展開し、官民協働による、アンテナショップの展開を図ります。			商工
			○コンビニ型「公設アンテナショップ」の全国展開 [26]全国展開	○コンビニ型「公設アンテナショップ」の全国展開 [26]全国展開	○コンビニ型「公設アンテナショップ」の本都連関での展開 [23]～[26]展開			
			○民間店舗型「阿波とくしまアンテナショップ」の新規認定 [26]新規認定	○民間店舗型「阿波とくしまアンテナショップ」の新規認定 [26]新規認定	○民間店舗型「阿波とくしまアンテナショップ」の新規認定 [26]新規認定			

数値箇所 計画の 位置付 け	改訂見直し の趣旨	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
5 1-2 (下) P11	(県政運営評価協議会) 平成23年度に何を行なったのか、また今後の取組も明確でないことから、「おもてなし」の成果などを具体的に示す必要があり、具体的な目標設定が必要である。	(数値目標の刷新設定) 「おもてなしの国とくしま」づくりは、観光客の受入対策の充実を図るものであり、平成23年度に実施するものは、観光ポランテニア団体や団体型観光事業者などへの研修や研修等による情報発信等の推進を図ることに、観光事業者等への取組を推進し、観光客の誘致促進につなげます。	個人旅行へと変化している観光ニーズに対応するため、観光案内サービス等の情報発信拠点の充実や、鉄道、路線バス、タクシー等を活用した着地型の観光情報の発信を図るとともに、徳島ならではの観光資源を活用した取組を推進し、観光客の誘致促進につなげます。	個人旅行へと変化している観光ニーズに対応するため、観光案内サービス等の情報発信拠点の充実や、鉄道、路線バス、タクシー等を活用した着地型の観光情報の発信を図るとともに、徳島ならではの観光資源を活用した取組を推進し、観光客の誘致促進につなげます。	個人旅行へと変化している観光ニーズに対応するため、観光案内サービス等の情報発信拠点の充実や、鉄道、路線バス、タクシー等を活用した着地型の観光情報の発信を図るとともに、徳島ならではの観光資源を活用した取組を推進し、観光客の誘致促進につなげます。	個人旅行へと変化している観光ニーズに対応するため、観光案内サービス等の情報発信拠点の充実や、鉄道、路線バス、タクシー等を活用した着地型の観光情報の発信を図るとともに、徳島ならではの観光資源を活用した取組を推進し、観光客の誘致促進につなげます。	商工
6 1-2 (上) P63 (下) P12	(県政運営評価協議会) 数値目標に対し実績が大きく下回っていること、また、定期チャーター便が休止していること、また、今後の再開や新たなルートの開設に向けた取組がないことから、C評価として	(文言の修正) 昨年度は湖国名との定期チャーター便に重点的に取組み、1,845人の中国人観光客を誘致し、一定の成果はあったところであるが、「日中関係」が多大な影響を及ぼしていることから、海外観光客の重点エリアをアジア・東南アジアに拡大するとともに、団体旅行だけでなく、徳島の魅力を活かした個人旅行客(FIT)や教育旅行、医療観光など多様な外国人観光客を	海外と徳島阿波おどり空港の間におけるチャーター便の誘致促進、関西広域連合における広域観光の推進などにより、外国人宿泊客数の増加を目指します。	海外と徳島阿波おどり空港の間におけるチャーター便の誘致促進、関西広域連合における広域観光の推進などにより、外国人宿泊客数の増加を目指します。	海外と徳島阿波おどり空港の間におけるチャーター便の誘致促進、関西広域連合における広域観光の推進などにより、外国人宿泊客数の増加を目指します。	海外と徳島阿波おどり空港の間におけるチャーター便の誘致促進、関西広域連合における広域観光の推進などにより、外国人宿泊客数の増加を目指します。	商工
7 1-2 (下) P14	平成25年度以降の観光圏の名称変更を反映する。また、「にし阿波」が県外や世界に向けたブランドとなることを目指し、住民参加による観光地域づくりを推進し、地域の日常を体感できる滞在プログラムの充実を図る。	文言の修正、数値目標の新規設定	県西部圏域の豊かな地域資源を活用し、官民一体となった「にし阿波」のPRや観光案内の向上などに取り組み、観光客の誘致、観光客の滞在促進を図ります。	県西部圏域の豊かな地域資源を活用し、官民一体となった「にし阿波」のPRや観光案内の向上などに取り組み、観光客の誘致、観光客の滞在促進を図ります。	県西部圏域の豊かな地域資源を活用し、官民一体となった「にし阿波」のPRや観光案内の向上などに取り組み、観光客の誘致、観光客の滞在促進を図ります。	県西部圏域の豊かな地域資源を活用し、官民一体となった「にし阿波」のPRや観光案内の向上などに取り組み、観光客の誘致、観光客の滞在促進を図ります。	西部

計画の位置付け	該当箇所	改訂見直しの特徴	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		部署
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
1-4	(上) P69、(下) P18	(県政運営評価戦略会議) 入館者数が目標を下回っており、現段階で目標達成は難しい状況である。このような中、小学生や県内の方にも阿波十郎兵衛歴史館に案内だけでなく人形浄瑠璃の魅力を伝えること、C評価として、	(文書の修正、数値目標の変更) 平成23年度に策定したアークシヨンプランに基づき、多岐な項目による企画公演の充実や教育プログラムの実施など「教育的なPR」の2本柱で、取り組みを推進する。人形浄瑠璃の魅力を伝える「人形浄瑠璃道楽会」や「阿波十郎兵衛歴史館」の連携を図り、効果的な情報発信を行っていただく。また、指標についても、県内外で関心している代替的な公演の入館者数に変更する。	●人形浄瑠璃の一層の振興を図るため、伝統芸能を観光資源として活用し地域の活性化を促進するとともに、後継者育成や伝統芸能の保存・継承のための取組を進めます。また、兵庫県と連携して阿波の人形浄瑠璃関係団体の交流などの事業を実施することにも、「シヨールリ100公演」を継続して開催します。	●阿波十郎兵衛歴史館 入館者数 [21]30,466人→[26]35,000人	●阿波人形浄瑠璃公演 入館者数 [21]38,136人→[26]41,000人		県民
2-1 (1-3)	(上) P73、(下) P15、P25	これまで、成長著しい中国をターゲットとした「とくしま・中国グローバル戦略」に基づき、県内企業の販路開拓及び観光振興に取組んできたが、東アジアを拡大する「とくしまグローバル戦略」を新たに展開し、より経済効果を高める。	成長著しい中国における本県企業の販路開拓及び本県への観光誘客を促進するため、「とくしま・中国グローバル戦略」に基づき、上海事務所を活用した中国市場の情報収集・提供や相対対応を行うことにも、商談機会の拡大や中国企業との交流を推進します。	○「経済飛躍サミットin上海」の開催 [23]開催	○「経済飛躍サミットin上海」の開催 [23]開催	○海外企業との商談機会提供数 [21]140件→[26]700件	○海外企業との商談機会提供数 [21]140件→[26]700件	商工

該当箇所		改訂見直しの趣旨	改訂見直しの概要	現行	改訂見直し(案)	
計画の位置付け	該当頁				主要事業名・事業概要・数値目標	部局
10	2-1	「もうかる農林水産業」の実現のため、各種施策を推進することによる数値目標として、農畜水産物産出額を数値目標の新規設定	数値目標の新規設定	<p>●本県農林水産業の特長的な発展や農山漁村の活性化に資するため、農山漁村基本条例を肉付けする基本計画に基づき、施策を推進します。</p> <p>○「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の改定 [26]改定</p> <p>○生産額ベースでの食料自給率向上 [19]129%→[26]155%</p> <p>○カロリーベースでの食料自給率向上 [19]45%→[26]50%</p> <p>○農畜水産物産出額 [22]1,217億円 → [26]1,250億円</p>	<p>●本県農林水産業の特長的な発展や農山漁村の活性化に資するため、農山漁村基本条例を肉付けする基本計画に基づき、施策を推進します。</p> <p>○「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の改定 [26]改定</p> <p>○生産額ベースでの食料自給率向上 [19]129%→[26]155%</p> <p>○カロリーベースでの食料自給率向上 [19]45%→[26]50%</p> <p>○農畜水産物産出額 [22]1,217億円 → [26]1,250億円</p>	農林
11	2-1	平成24年度から、今後の地域農業のあり方や地域の中心となる経営体等を定める「人・農地プラン」の作成が開始されている。集落の合意形成の下、作成される「人・農地プラン」における「中心となる経営体」は、今後の地域を支える農業者となることから、「中心となる経営体」数を新たな指標とする。	数値目標の変更 文言の修正、数値目標の変更	<p>●経営感覚に優れた認定農業者や農業法人を育成します。</p> <p>○認定農業者数 [2]2,775経営体→[26]3,000経営体</p> <p>○農業法人数 [21]148経営体→[26]170経営体</p>	<p>●人・農地プランに中心経営体と位置づけられる地域の中心となる経営体や農業法人を育成します。</p> <p>○「人・農地プラン」に位置づけられる「地域の中心となる経営体」数 [23]1 → [26]400経営体</p> <p>○農業法人数 [21]148経営体→[26]170経営体</p>	農林
12	2-1	農林水産総合技術支援センターの再編による新拠点の整備に伴い、新たに開設予定の「アグリビジネススクール」についての、事業概要、数値目標へと見直す。	数値目標の変更 文言の修正、数値目標の変更	<p>●「とくしまアグリテクノスクール」において、技術習得に必要な研修を実施します。</p> <p>○「とくしまアグリテクノスクール」受講者数(累計) [21]820人→[26]2,915人</p>	<p>●アグリビジネススクールの開設等、講習会、研修会を開催し、本県農業を担う人材育成を行いたい。</p> <p>○アグリビジネススクールの入塾者数(累計) [24]1 → [26]60人</p>	農林

該当箇所 計画の 位置付 け	改定見直し の趣旨	改定見直しの 概要	現行		改定見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
2-3	(下) P34	(興産運営評価戦略会議) 現状での達成見込みが困難と なっており、課題把握に努 め、具体的な今後の取組方針 を決定すべき。新製品を開発し ても物産効果が本格的になら ないことなどがある。全国展開 できないものがある。研究 者の関係などの支援が必 要。	●県内の有望なベンチャー企業に対し、投資事業 有償責任組合*が、株式、社債の引受等の直接金融 の提供と物産コスト対策等も踏まえた販路開拓や 組織体制整備など株式公開に向けた指導を行う。	●県内の有望なベンチャー企業に対し、投資事業 有償責任組合*が、株式、社債の引受等の直接金融 の手取による資金の提供を行います。	○投資先企業売上総会社 [21]238億円→[25]270億円	●県内の有望なベンチャー企業に対し、投資事業 有償責任組合*が、株式、社債の引受等の直接金融 の提供と物産コスト対策等も踏まえた販路開拓や 組織体制整備など株式公開に向けた指導を行う。	商工
2-4	(上) P31, (下) P39	農林水産物を活用した新産業 創出のための6次産業化を促 進する。6次産業化法による 「総合化事業計画」の認定数 を数値目標とする。	●徳島ならではの地域資源による「とくしまプラ ント」の活用や、本県の豊潤で良質な農林畜水産 物と中小企業が有する高いものづくり技術等を運 搬させ、農商工連携による新商品開発などを促進 します。	●徳島ならではの地域資源による「とくしまプラ ント」の活用や、本県の豊潤で良質な農林畜水産 物と中小企業が有する高いものづくり技術等を運 搬させ、農商工連携による新商品開発などを促進 します。	○農商工連携による商品開発事業数(累計) [21]41件→[26]100件 ○新商品等の開発事業数(累計) [21]ー→[26]50件 ○徳島ビジネスチャレンジメッセ新農業ビジ ネス出展数 [21]ー→[26]40出展 ○六次産業化法による「総合化事業計画」の認 定数 [23]16件→[26]30件	○農商工連携による商品開発事業数(累計) [21]41件→[26]100件 ○新商品等の開発事業数(累計) [21]ー→[26]50件 ○徳島ビジネスチャレンジメッセ新農業ビジ ネス出展数 [21]ー→[26]40出展 ○六次産業化法による「総合化事業計画」の認 定数 [23]16件→[26]30件	商工・ 農林

該当箇所 計画の 位置付 け	改訂見直し の趣旨	改訂見直しの概要	改訂見直し(案)		部局
			現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
2-5 (5-3)	(上) P83. (下) P41. P112	<p>条例の制定により、「とくしま障害者雇用促進条例(仮称)」を「徳島県障害者雇用の促進等に関する条例」に修正する。また、「障害者の雇用の促進等に関する法律施行令及び身体障害者補助犬法施行令の一部を改正する政令」により、平成25年4月1日から障害者の法定雇用率が引き上げられるため、民間企業の障害者雇用率の数値目標を上方修正する。</p>	<p>障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施するとともに、事業主をはじめとした国民の意識啓発を図り、個人、地域、事業主、行政のそれぞれの立場で障害者の職業的自立を支援する体制づくりを目標とします。</p>	<p>「徳島県障害者の雇用の促進等に関する条例」に基づき、障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施するとともに、事業主をはじめとした国民の意識啓発を図り、個人、地域、事業主、行政のそれぞれの立場で障害者の職業的自立を支援する体制づくりを目標とします。</p>	商工
			<p>○「とくしま障害者雇用促進条例(仮称)」の制定 [24] 制定</p> <p>○民間企業の障害者雇用率 (H18対比増加幅) [21] 全国2位→[26] 全国1位</p> <p>○民間企業の障害者雇用率 [21] 1.61%→[26] 1.80% (法定雇用率) 以上</p>	<p>○「徳島県障害者の雇用の促進等に関する条例」の制定 [24] 制定</p> <p>○民間企業の障害者雇用率 (H18対比増加幅) [21] 全国2位→[26] 全国1位</p> <p>○民間企業の障害者雇用率 [21] 1.61%→[26] 2.00% (法定雇用率)</p>	

該当箇所 計画の 位置付 け	2-6	改善見直し の趣旨	改善見直しの概要	改善見直し(案)		部局
				現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
(上) P85、 (下) P43		生産現場での「とくしま特選ブランド」への関心が高まり、平成24年度の発掘見込みが目標数値を上回ることもあり、成果・効果の更なる向上を目指し、とくしま特選ブランド創出数(累計)の数値目標について上方修正を行う。また、生産体制の強化を図るため、生産現場の就労促進を図るため、野菜作付け面積拡大を数値目標とする。	改善見直しの概要	●「生鮮市場」はもとより「食品全般」を視野に入れた「新鮮なっ!とくしま」号の全国展開や、大都市、海外におけるPR体制並びに生産体制の強化を行います。	●「生鮮市場」はもとより「食品全般」を視野に入れた「新鮮なっ!とくしま」号の全国展開や、大都市、海外におけるPR体制並びに生産体制の強化を行います。	農林
				○大阪中央卸売市場における青果物の都道府県別販売金額 [21]第2位→[26]第1位	○大阪中央卸売市場における青果物の都道府県別販売金額 [21]第2位→[26]第1位	
				○「飛び出す」ブランド産地育成事業実施産地数(累計) [21] -- → [26]160産地	○「飛び出す」ブランド産地育成事業実施産地数(累計) [21] -- → [26]160産地	
				○とくしま特選ブランド創出数(累計) [21] -- → [26]20ブランド	○とくしま特選ブランド創出数(累計) [21] -- → [26]40ブランド	
				○「とくしまブランド・クチャコミ応援隊」育成数(累計) [21] -- → [26]1,200人	○「とくしまブランド・クチャコミ応援隊」育成数(累計) [21] -- → [26]1,200人	
				○「とくしまブランド協力店」における徳島県フェアの開催回数(累計) [21]20回→[26]150回	○「とくしまブランド協力店」における徳島県フェアの開催回数(累計) [21]20回→[26]150回	
				○「新鮮なっ!とくしま」号の運行回数(累計) [21]246回→[26]500回	○「新鮮なっ!とくしま」号の運行回数(累計) [21]246回→[26]500回	
				○徳島の若鯉PRキャンペーン開催回数(累計) [21]2回→[24]5回	○徳島の若鯉PRキャンペーン開催回数(累計) [21]2回→[24]5回	
				○「徳島産はも指定応援料理店」の県外店舗数(累計) [21] -- → [26]12店舗	○「徳島産はも指定応援料理店」の県外店舗数(累計) [21] -- → [26]12店舗	
				○野菜の作付け面積拡大(累計) [23] -- → [26] 500ha	○野菜の作付け面積拡大(累計) [23] -- → [26] 500ha	

計画の 位置付 け	該当箇所	改定見直し の趣旨	改定見直しの概要	改定要旨(案)		部局
				現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
2-6	(下) P44	農林水産物の輸出拡大を目標とし、新たに農林水産加工品等についても輸出拡大の目標とする。ことから、農林水産物輸出入額について、加工品等を含めた数値目標とするよう見直す。	数値目標の変更	<p>●世界にはばたく「とくしまブランド」の確立を目指し、県産農林水産物の輸出を支援します。</p> <p>○輸出定着品目数(累計) [2]14品目 → [26]10品目</p> <p>○輸出拠点数 [2]14箇所 → [26]8箇所</p> <p>○「とくしまブランド海外協力店」数 [2]1 → [26]18店舗</p> <p>○農林水産物輸出入金額 [23]1.1億円 → [26] 2.4億円</p>	<p>主要事業名・事業概要・数値目標</p> <p>●世界にはばたく「とくしまブランド」の確立を目指し、県産農林水産物の輸出を支援します。</p> <p>○輸出定着品目数(累計) [2]14品目 → [26]10品目</p> <p>○輸出拠点数 [2]14箇所 → [26]8箇所</p> <p>○「とくしまブランド海外協力店」数 [2]1 → [26]18店舗</p> <p>○農林水産物輸出入金額 [23]1.1億円 → [26] 2.4億円</p>	農林
2-6	(下) P45	平成24年11月にイオンリテール(株)、JAあなん、那珂市、県を構成員とする「木頭ゆず食文化振興協議会」を設立、新たな商品開発に向けた取組が加進されることにより、平成24年度の実績見込みは、H26目標値を越えることが見込まれるため、事業実施による6次産業化の更なる進捗を目標とし、目標数値について、上方修正する。地域クラスターについては、丹生谷地域において先行的に取組を進んでいるところであり、この成果を踏まえ、阿南地域への展開を検討することとする。	文言の修正、数値目標の上方修正	<p>●阿南・丹生谷地域において、「阿南・丹生谷地域クラスター」を設立し、新たな商品の開発や販路開拓など、6次産業化を推進します。</p> <p>○地域特産物数(累計) [2]11品目 → [26]15品目</p> <p>○新商品開発数(累計) [2]15商品 → [26]20商品</p>	<p>主要事業名・事業概要・数値目標</p> <p>●丹生谷地域において、「N.g.w. -谷クラスター」を設立し、新たな商品の開発や販路開拓など、6次産業化を推進します。</p> <p>○6次産業化に取り組み地域特産物数(累計) [2]11品目 → [26]15品目</p> <p>○新商品開発数(累計) [2]15商品 → [26]24商品</p>	商部

該当箇所 計画の 位置付 け	該当頁	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	改善見直し(案)		部局
				実行	主要事業名・事業概要・数値目標	
19 2-6	(下) P46	既に新たな産地づくりに取り組んでいる。そば、みまから、野唐辛子についても、にし阿波ならではの品目としてさらさら推進していくこととし、追加する。	文書の修正	にし阿波ならではの品目として、いんげん、ピーマン、みまから、野唐辛子などの園芸品目、ぶどう、ブルーベリーなどの果樹、タラノメ、山ぶきなどの山菜、全ば、御栗芋などの伝統産物の、特徴ある産地づくりを進めます。	主要事業名・事業概要・数値目標	西部
20 2-6	(下) P46	県西部圏域における農産物の新たな担い手対策と、農地の適正な保全管理の取り組みとして、新たな営農活動を行う集落営農組織の育成を追加する。	文書の修正、数値目標の新規設定	県西部圏域において、経営感覚に優れた農業者や農作業の受託を行うファミリーヒース事業体の育成を進めます。	○ファミリーヒース事業体数(累計) [21]16経営体 → [26]19経営体 ○集落営農に取組む組織数(累計) [23]1組織 → [26]5組織	西部
21 2-7	(下) P49	「森林整備加速化・林業飛躍基金」等を積極的に活用し、林業・林業関係者の林内整備準備に取り組んでいる。平成23年度実績が平成24年度目標数値を上回ったことから、目標・効果の更なる向上を目指し、林内整備関係延長(累計)の上方修正を行う。	文書の修正、数値目標の上方修正	「高効率団地」に「新林業生産システム」と効果的な路線を確保し、主伐も見据えた生産整備を進めます。	○高効率団地の設定数(累計) [21] → [26]60団地 ○新林業生産システム(先進林業機械)導入数(累計) [21]25セット → [26]45セット ○林内路線網*関係延長(累計) [21]6,106km → [26]6,930km ○「林業版」直接支払制度を活用した森林整備面積(累計) [21] → [26]20,000ha	農林

該当箇所 計画の 位置付 け	改訂見直し の趣旨	改訂見直し の概要	現行		改訂見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
22 (上) P87, (下) P80	木造公共事業への乾燥材需要の急増から、「森林整備追加計画」を活用し、「乾燥材供給体制」を構築することにより、平成22年度実績を上回ったことから成果・効果の更なる向上を目指す。乾燥材出荷量の目標数値について、上方修正を行う。	文書の修正、数値目標の上方修正	●木材の加工規模を拡大するとともに、安心な品質を確保するJAS取得の推進や、産・品質等に応じた高品質な商品づくりを支援します。 ○製材工場1工場当たりの県産材使用量 [21]860m ³ → [26]1,300m ³ ○製材品出荷量に占める人工乾燥材割合 [21]16% → [26]25%	●木材の加工規模を拡大するとともに、高品質な木材加工機械の導入支援を行う等、安心な品質を確保するJAS取得の推進や、産・品質等に応じた高品質な商品づくりを支援します。 ○製材工場1工場当たりの県産材使用量 [21]860m ³ → [26]1,300m ³ ○製材品出荷量に占める人工乾燥材割合 [21]16% → [26]27%	農林		
23 (下) P82	鳥取県との連携体制を構築することにより、危機管理体制の一層の充実・強化を図るため、新規に主要事業を設定する。	主要事業の新規設定	○製材JASの認定工場数(累計) [21]1 → [26]16工場	●函楽トラップ巨大地震をばはじめとする危機事象に対応するため、相互応援協定を締結している鳥取県と、函楽の市町村や民間団体の相互交流や連携を支援すること等により、広域的な連携体制の構築を図ります。	危機		
24 (下) P88	「徳島県産物の産用の防止に関する条例」に基づき、青少年を守り、一層の健康及び安全を守り、推進するたため、新規に主要事業を設定する。	主要事業の新規設定		●「徳島県産物の産用の防止に関する条例」に基づき、青少年を守り、一層の健康及び安全を守るため、より一層の産物産用対策を推進します。	保健		
25 (下) P83	西部圏域内の地震防災・減災対策の一層の推進を図るため、県と国庫市町が共同で防災推進計画を策定し、広域支援体制の充実を図る。	文書の修正・数値目標の新規設定	●西部圏域県民局に、「西部圏域広域防災連絡会議」を設置し、圏域の枠を超えた被災地域に対する行政機能のバックアップや被災者の受入などの支援に向けた取組を推進します。 ○広域防災計画の策定 [24]策定	●「西部圏域広域防災会議」において圏域の市町と共同して地震防災・減災対策を推進するとともに、圏域の枠を超えた被災地域に対する行政機能のバックアップや被災者の受入などの支援に向けた取組を推進します。 ○広域防災計画の策定 [24]策定 ○にし回波防災行動計画の策定 [25]策定	西部		

該当箇所 計画の 位置付 け	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
26 3-2 (下) P66	(県政運営評価戦略会議) 数値目標の達成が困難と部局で判断がされており、県のリーダーストップによる対策の強化が必要である。取組の進展を促進するため、新規に主	(文書の修正) 対象地区から、市町村と協力して耐震化が必要となる民間建築物のリストを作成するとともに、それを基に特定の民間建築物が多い市町村や地震・津波で大きな被害が想定される市町村に重点を置いて、補助制度の創設を働きかけるよう、取組を見直す。	●特定の問題建築物(一定要件の病院・劇場・百貨店・マンション等)の耐震化を目的として、耐震診断、耐震改修などに対し、事業主体である市町村に助成を行います。	●耐震改修が必要と特定の問題建築物(一定要件の病院・劇場・百貨店・マンション等)についてリストを作成し、市町村に補助制度の創設を促すとともに、耐震診断や改修への補助を行う市町村に対し、助成を行います。	○補助金交付要綱案定市町村数(累計) [21]5市町村→[26]24市町村	○補助金交付要綱案定市町村数(累計) [21]5市町村→[26]24市町村	県土
27 3-2 (下) P67	山地災害に関する情報収集の迅速化や山地災害危険地区等における地域住民への防災啓発を推進するため、新規に主要事業を設定する。	主要事業の新規設定		●山地災害に関する情報収集の迅速化や山地災害危険地区等における地域住民への防災啓発を推進するため、山地防災ヘルパの新規設定を推進します。	○山地防災ヘルパの認定者数(累計) [23]84人 → [28]118人		農林
28 3-2 (下) P68	巨大地震の発生に備え、速やかな復旧に向けた課題と対策を整理した、「津波・地震対策推進B・CP」を策定することから、新規に主要事業を設定する。	主要事業の新規設定		●巨大地震の発生に備え、速やかな復旧に向けた課題と対策を整理した、「津波・地震対策推進B・CP」の策定を行います。	○「津波・地震対策推進B・CP」の策定 [26]策定		農林
29 3-3 (上) P67、 (下) P71	(県政運営評価戦略会議) 生産者、販売者側に対しての指導はできているようなので、監視体制を強化してほしい。	(数値目標の新規設定) 平成24年度に「とくしま食品表示Gメン」を創設したため、新たに「立入調査事業者数」の数値目標を設定し、計画的な監視指導を行う。	●産地偽装など食品の不公正表示の未然防止を図り、食品表示の適正化を推進するため、監視体制の充実強化を行います。	○「とくしま食品表示Gメン」の創設 [24]創設	○「とくしま食品表示Gメン」の創設 [24]創設	○「とくしま食品表示Gメン」の立入調査事業者数 [23] → [25]~[26]120事業者/年	危機

該当箇所 計画の 位置付	改善見直し		現行		改訂見直し(案)	部署
	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標		
3-4	(下) P77	専門病院の地方独立行政法人化を行うことにより、安定した経営基盤を確立するとともに、東北圏の中核的病院として、より一層の地域医療連携機能の強化を図るため、新規に主要事業を設定する。	主要事業の新規設定		<p>◎ 盛岡病院の地方独立行政法人化を行うことにより、安定した経営基盤を確立するとともに、東北圏の中核的病院として、より一層の地域医療連携機能の強化を図ります。</p> <p>○ 地方独立行政法人徳島県徳島中央病院の設立 [25] 設立</p>	保健
3-4	(上) P99, (下) P77	「がん」と診断された患者や家族は身体的にも精神的にも大きな苦痛を抱えており、がん治療における患者の向上の取組が重要であるので、がん患者の療養生活の質の向上を図るために、三好病院癌医療部を整備に合わせ、「緩和ケア病棟」を整備する。	文書の修正、数値目標の新規設定	<p>◎ 平成26年度の新県立三好病院の閉院にむけて、「がん医療」について、従来の「手術療法」や「化学療法」に加え、新たに「放射線療法」を取り入れることにより、「集学的治療」が実施できる体制を整備します。また、癌医療の整備に合わせ、専門的な「緩和ケア病棟」を開設します。</p>	<p>◎ 平成26年度の新県立三好病院の閉院にむけて、「がん医療」について、従来の「手術療法」や「化学療法」に加え、新たに「放射線療法」を取り入れることにより、「集学的治療」が実施できる体制を整備します。また、癌医療の整備に合わせ、専門的な「緩和ケア病棟」を開設します。</p> <p>○ 徳島県地域がん診療連携推進病院の指定 [23] 指定</p> <p>○ 集学的治療 [26] 整備、実施</p> <p>○ 緩和ケア病棟の整備 [26] 整備</p>	保健・病院

計画の 位置付 け	該当箇所	改悪見直し の趣旨	改悪見直し の概要	現行		改悪見直し(案)		部局
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標			
32	3-5 (上) P101, (下) P80	徳島県がん対策推進計画に基づき、目標数値を見直す。	数値目標の変更	<p>●地球運送クリティカルパス*の推進等により、身近な地域で本人の意向を尊重した「がん治療」が受けられる環境づくりを進めるとともに、がん検査の受診率の向上による死亡者の減少と治療の初期段階からの緩和ケア*の実施によるがん患者及びその家族の療養生活の質の維持向上を図ります。</p> <p>○がんの75歳未満年齢調整死亡率* (人口10万対) [21]78.5 → [26]72.4</p> <p>○がん検診受診率の向上 [19]胃23.5%、大腸18.0%、肺20.2%、乳癌17.0%、子宮19.0% → [26]胃・大腸・肺当量40%、乳癌・子宮50%</p>	<p>●地球運送クリティカルパス*の推進等により、身近な地域で本人の意向を尊重した「がん治療」が受けられる環境づくりを進めるとともに、がん検査の受診率の向上による死亡者の減少と治療の初期段階からの緩和ケア*の実施によるがん患者及びその家族の療養生活の質の維持向上を図ります。</p> <p>○がんの75歳未満年齢調整死亡率* (人口10万対) [21]78.5 → [26]72.4</p> <p>○がん検診受診率の向上 [19]胃23.5%、大腸18.0%、肺20.2%、乳癌17.0%、子宮19.0% → [26]胃・大腸・肺当量40%、乳癌・子宮50%</p>	保健		
33	4-1 (上) P103, (下) P84	平成24年3月に「自然エネルギー一立県とくしま推進戦略」を策定し、本県への自然エネルギー導入を推進しているため文書改める。技術支援は、小水力発電だけでなく太陽光発電等も含めるとともに、県自らメガソーラー発電を行う。	文書の修正	<p>●地球循環システム*の構築に向けての体制整備及び風力発電など新エネルギーの導入についての検討を進めます。また、市町村等における小水力発電*導入に関して、技術支援を行います。</p> <p>●自然エネルギー一立県とくしま推進戦略に添った本県並み・風力・水力などの自然エネルギーの本県への導入を推進します。また、市町村等に於ける新エネルギーの活用に関して、技術支援を行うとともに、県自らメガソーラー発電を行います。</p>	<p>●地球循環システム*の構築に向けての体制整備及び風力発電など新エネルギーの導入についての検討を進めます。また、市町村等における小水力発電*導入に関して、技術支援を行います。</p> <p>●自然エネルギー一立県とくしま推進戦略に添った本県並み・風力・水力などの自然エネルギーの本県への導入を推進します。また、市町村等に於ける新エネルギーの活用に関して、技術支援を行うとともに、県自らメガソーラー発電を行います。</p>	県民・企業		
34	4-1 (下) P85	全道固定価格買取制度の実施に伴い、取組みの機運が高まった結果、平成24年度の実績見込みが目標値を上回る見込みがあるため、数値目標と推計されるため、数値目標の見直しを行う。また、数値目標を上方修正することから、「モデル地区」という表現を見直す。	文書の修正、数値目標の上方修正	<p>●農村地域において、再生可能エネルギーを有効活用するためのモデル地区を選定し、「クリーンエネルギーの地産地消」を促進することにより、地域の活性化を図ります。</p> <p>○再生可能エネルギーの導入モデル地区数 [21] → [26]2地区</p>	<p>●農村地域において、再生可能エネルギーを有効活用するためのモデル地区を選定し、「クリーンエネルギーの地産地消」を促進することにより、地域の活性化を図ります。</p> <p>○補助事業を活用した再生可能エネルギーの導入地区数 [21] → [26]2地区</p>	農林		

該当箇所 計画の 位置付 け	改訂見直し(案)		現行	改訂見直しの概要	改訂見直しの趣旨	現行	改訂見直し(案)	部署
	計画の 位置付 け	主要事業名・事業概要・数値目標						
4-2	(下) P89	<p>(数値目標の変更) 廃棄物処理施設等を通じて、一般廃棄物の処理主体である市町村と一体化の連携を強化し、市町村と一体化した取り組みを努める。 また、リサイクル率など一般廃棄物の処理状況については、県が策定した取組方針に基づき、全国での取り組みの後進国に陥らないよう、今後においては、県での策定後の数値を暫定値として記載する。 なお、一般廃棄物のリサイクル率は、市町村が関与した廃棄物処理から算出したものであり、市町村を介さない独自ルートによるリサイクルは、毎年に反映されない。(例：事業者から古紙回収への売却など)。そのため、現指標では社会全体の状況が把握できないことから、独自ルートへの流出等の影響を受けにくい品目(廃プラ・PET)に限定した指標に変更する。</p>	<p>●廃棄物の発生抑制・リサイクル促進のための普及啓発活動を行います。</p> <p>○リサイクル率*(一般廃棄物*) [20]18.9%→[27]28%</p> <p>○1人1日当たりのごみ排出量 [20]1994g→[27]1858g</p> <p>○最終処分率(産業廃棄物*) [20]4.5%→[27]3.3%</p>	<p>●廃棄物の発生抑制・リサイクル促進のための普及啓発活動を行います。</p> <p>○廃プラ・PET(一般廃棄物*)の資源化率 [20]7.47%→[26]9.00%</p> <p>○1人1日当たりのごみ排出量 [20]1994g→[27]1858g</p> <p>○最終処分率(産業廃棄物*) [20]4.5%→[27]3.3%</p>	県民			
4-2	(下) P90	<p>(県政運営評価戦略会議) 23年度の実績が1件となっており、これは、累計とあるところからすると、新規の1賞付金・補助金制度の突進ではないと考えられる。その観点からすると、17年度の実施以降、実績が上がっていないことから、C評価として評価すべき。新たな具体的な取組を策定する必要がある。第二案においてもC評価であった。 また、評価項目についても、賞付金・補助金制度の利用件数で評価するしかないのか。他の評価項目は考えられないのか、検討する必要があるのではないかと。</p>	<p>●ゼロエミッション*の実現に努めるため、産学官による連携を促進する。産学官による連携を促進する。産学官による連携を促進する。産学官による連携を促進する。</p> <p>○環境関連産業の立地を促進する賞付金・補助金制度の実施(累計) [21]1件→[26]2件</p>	<p>●ゼロエミッション*の実現に努めるため、産学官による連携を促進する。産学官による連携を促進する。産学官による連携を促進する。産学官による連携を促進する。</p> <p>○環境関連産業の立地を促進する賞付金・補助金制度の実施(累計) [21]1件→[26]2件</p> <p>○環境関連産業に係る各種支援制度説明会への参加者数 [25]～年間100人</p>	県民			

該当箇所	改定見直し(案)		現行	改定見直しの概要	改定見直しの趣旨	改定見直しの概要	現行		部局
	計画の位置付け	該当頁					主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
40	4-3	(下) P94	<p>(果政運営評価戦略会議) 目標がないため、今後の取組がはつきりしないのではないかと課題において、「さらなる取組の強化については、事業者の負担が大きい」とあり、今後の推進は非常に難しいことであることがわかるが、課題解決が具体的に何をも挙げておらず、今後の取組方針も不明瞭であるため、C評価とした。</p>	<p>(数値目標の新規設定) 事業者等の負担を軽減する観点から、単独の事業としてリスクコミニケーションの推進を図るだけでなく、新たに事業者等が担っている環境活動等の一環として実施することなどにより、リスクコミュニケーションの推進を行う方向で見直す。また、セミナー等への参加等について目標の設定を検討する。</p>	<p>◎果民と事業者間の信頼関係を構築するため、リスクコミュニケーションを推進します。</p>	<p>◎果民と事業者間の信頼関係を構築するため、リスクコミュニケーションを推進します。</p>	<p>◎セミナー等への参加者数 [26]～年間50人</p>	県民	
41	4-3	(下) P95	<p>(果政運営評価戦略会議) 環境への負荷の少ない産物を推進することから、P23の取組や課題については、「経済・新成長」として、C評価とすべきである。よって、C評価とされた。数値目標以外のものは、実績から引くこと。</p>	<p>(文言の修正、主要事業の移行) 生産性の向上を図り、収益性の高い産物の実現に向け、環境に配慮しながらチャレンジャー産物を支える。2-1 経済加強とくしまつくりの推進へ移行</p>	<p>◎生産性の向上や飼料自給率の向上など、チャレンジャーモデル的な取り組みを積極的に地球環境にやさしい畜産の導入を推進します。</p>	<p>◎産産業者の生産性向上や飼料自給率の向上など、産産改革のためにチャレンジャーモデル的な取組を支援します。</p>	<p>◎チャレンジャーモデルの取組数(累計) [21]2モデル～[26]12モデル</p>	農林	
42	4-3	(上) P111, (下) P95	<p>(果政運営評価戦略会議) 「へんろ道」や「いにしえ夢街道」、「四国のみち」、また「みずべ八十八ヶ所」などもあることから、連携した取組が効果的ではないか。取組内容の見直しが必要であり、また、今後の取組方針も非常に描画的であるため、C評価とする。</p>	<p>(文言の修正) 「へんろ道」や「四国のみち」との連携の観点から、「ルートマップ」作成の際には、これらのコースや「四国霊場八十八ヶ所」を記載するものになるよう、取組内容を見直す。</p>	<p>◎「四国のみずべ八十八ヶ所」のPRを行うとともに、八十八ヶ所以外の番外箇所の新たな掘り起しを行い、「四国のみち」や「四国霊場八十八ヶ所」と合わせたルートマップを作成して県内外へ「徳島のみずべ」の魅力を発信します。</p>	<p>◎「四国のみずべ八十八ヶ所」のPRを行うとともに、八十八ヶ所以外の番外箇所の新たな掘り起しを行い、「四国のみち」や「四国霊場八十八ヶ所」と合わせたルートマップを作成して県内外へ「徳島のみずべ」の魅力を発信します。</p>	<p>◎ルートマップの作成 [26]作成</p>	県土	

計画の位置付け	該当箇所	改訂見直しの趣旨	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		部局
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
4-4	(下) P99	(県政運営評価戦略会議) 晴門市と共同でカメの捕獲を行っていき、大きな問題に陥らないよう対策を講じていく。調査だけでなく、駆除対策にも取り組むべきで、対策が正しいのではないかと懸念している。	(文書の修正) アライグマについては、全国的に農作物等への被害が発生していることから特定外来生物に指定され、捕獲や調査を進めてきた。また阿波市、本県でも阿波市を中心としており、特定外来生物であるアルゼンチンチヌアアリについても、これまで緊急雇用創出事業により徳島市の木材団地内で駆除対策や生息調査を実施してきた。今後も引き続き阿波市・地域住民・企業や関係団体などと連携し、対策を進めていく。	●外來種についての基礎調査を行うことにより、生息系の保全や農林水産業への被害の防止を促進します。	●特定外来種(アライグマ・アルゼンチンチヌア・オオクチバス・ブルーギル等)の生息状況を明らかにするための調査 [23]～[26]毎年調査	●地産直売店や地域住民、また関係団体などと連携し、特定外来種についての調査や駆除対策を行うことにより、生息系の保全や農林水産業への被害の防止を促進します。	○特定外来種(アライグマ・アルゼンチンチヌア・オオクチバス・ブルーギル等)の生息状況を明らかにするための調査 [23]～[26]毎年調査	県民
4-5	(下) P101	「森林を守る条例」(仮称)を制定し、森林が育む安全・安心な暮らしを次世代へつなげる施策を展開する。また、「新しい公共による森づくり推進協議会(仮称)」から正式名称となったため、文書の修正を行う。	文書の修正	●管理放棄森林の解消や、国際的な資源争奪戦からの森林保全に向け、県民や企業・NPOなど県民総ぐるみで取り組む体制を構築し、県や市町村の森林取得による公有化を促進します。	○新しい公共による森づくり推進協議会(仮称)の設置 [23]設置	●管理放棄森林の解消や水資源の確保、山地災害の防止など森林の保全に向け、「森林を守る条例」(仮称)を制定するとともに、県民や企業・NPOなど県民総ぐるみで取り組む体制を構築し、県や市町村の森林取得による公有化を促進します。	○「とくし」森林づくり県民会議」の設置 [23]設置	政策・県民・森林・国土
5-1	(下) P103	「徳島県子どもはぐくみ条例(仮称)」を制定し、既存の「徳島はぐくみプラン」を厚く実施計画として位置付け、子どもはぐくみに関する施策を推進していくこととしたため。	文書の修正	●「徳島はぐくみプラン」の県民への浸透を図り、子育て支援へ参画を促進する普及啓発活動を実施します。	○「徳島森林づくり推進機構(仮称)」の開設 [26]開設	●子どもはぐくみにはぐくみ、子育ての喜びを分かち合える環境を目標として、「徳島県子どもはぐくみ条例(仮称)」に葉つき、「徳島はぐくみプラン」を総合的かつ計画的に推進します。	○「徳島森林づくり推進機構(仮称)」の開設 [26]開設	保健

該当箇所 計画の 位置付 け	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部署
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
5-1 (上) P17, (下) P104	(県政運営評価戦略会議) 「若者未来創造」について、子育て機能の向上を大きく見据えているが、平成28年度から、平成30年度までの3年間の取組をみると「双単句レックス」であったり、「20代からの経済学」や「若者がとまらないうちから」などの講座も認められ、「子育て」に対する事業内容が薄くなった。また、青年が夢を語った。ただ、徳島の未来に積極的に関わっていく。「若者未来創造」の目的は大いに評価できるため、行動計画の中に、新たに重点戦略を設定すればいいのではないかと。	(重点戦略の中に新規項目の設定) 当事業は、次代の親となる若者を対象として「徳島の魅力」や「まわりの力」に目を向けることと、若者がとまらないうちから、徳島の未来に積極的に関わっていくことのできる「地域リーダー」づくりとして、若者を養成する事業であり、子育てを含めた地域社会の課題に真剣に取り組む若者が育ち、今後、施策の推進と連携できる社会が実現できることを目指す。なお、「若者未来創造」の項目に沿って、重点戦略の中に「若者未来創造」の参加者数の数値目標を設定し、見直しを行う。	3 子育て機能の向上 ◎徳島の未来を担う若者が、徳島の現状や人口減少社会の到来など新たな時代潮流について学習したり、結婚や子育てを含む自らの将来について語り合う機会を通じて、徳島の未来に積極的に関わっていくよう「若者未来創造」を開催します。	◎「若者未来創造」の開催 [23]開催	◎「若者未来創造」の開催 [23]開催	◎「若者未来創造」の参加者数(累計) [21] ー ー [26]1120人	保健
5-2 (上) P19, (下) P110	(県政運営評価戦略会議) 参加者については、平成22年度に比較して増加しているものの、平成19年度から21年度までの実績を下回っている。高齢者に対し、質の高い介護サービスを提供するためにも、必要な研修を実施し、介護サービスの向上を図る必要があることから、今後は、研修参加者を増やす工夫が必要である。	(文書の修正、数値目標の変更) 介護保険制度が満ちて10年以上経過し、市町村や社会福祉法人、NPO法人、民間事業者による、介護サービス事業者を対象とした研修が盛んに行われている。今後、県独自の人材育成を図る観点から、介護サービス事業者の高度な技術・知識の修得に繋がるよう、数値目標についても見直しを行う。	◎介護サービス従事者の研修等を通じて、介護サービスの質の向上を図ります。	◎介護サービス従事者の研修参加者数 [21] 4,394人 / 年ー [26] 15,100人 / 年	◎介護サービス従事者の研修等を通じて、介護サービスの質の向上を図ります。	◎介護サービス従事者の研修参加者数 [21] ー ー [26] 250人 / 年	保健

該当箇所 計画の 位置付 け	該当箇所	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部署
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標			
48	5-3 (F) P113	(県政運営評価戦略会議) 平成23年度の取組として、し しを1頭を育成し、飼育当 たとなつていくことが求めら 必要となることと、このこと は、もつと幅広い施策を推 進していくことか。新たに指 を追加して、進捗管理を行 たらいいと思う。	(文言の修正、数値目標の新設 定) 障害者が住み慣れた地域で した居宅サービスに 新たに視覚障害者生活訓練 受診者延べ数(累計)を数値目 標として追加する。	●障害者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、居宅サービスの充実を図ります。	●障害者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、必要サービスに対応した居宅サービスの充実を図ります。	○補助犬の登録頭数(累計) [21]12頭→[26]17頭	○補助犬の登録頭数(累計) [21]12頭→[26]17頭	保健
49	6-1 (F) P121	(県政運営評価戦略会議) 障害者教育の基本であり、学 力向上、人権性の向上に重 なことから、このこと 状況を調査・分析して、障害 対策に努めることが必要であること からC評価とした。	(数値目標の変更) 障害者の生活化プロジェクトⅢを突 進し、毎月通を家庭訪問推進週間に 位置づけ、家庭訪問につなげる取 組を実施する。年間2回、平均訪問 時間等を調査し、調査結果を学校 に周知することを通し実効性を高 めていく。学校における授業等 の新聞利用が進んだこと、障害者 の就業率の普及により電子書籍によ る就業機会が増えていることなど から、家庭訪問が大幅に増加した ため、実施に合った数値目標に変更 する。	●子どもと障害者の定着を図ります。県内全域で障害者の定着を図ります。	●子どもと障害者の定着を図ります。県内全域で障害者の定着を図ります。	○家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合 小5 [21]66.0%→[26]77.2% 中2 [21]55.5%→[26]67.6%	○ふだん一日10分以上本を読む児童生徒(新聞誌を含む)を する児童生徒の割合 小5 [23]70.1%→[26]78.0% 中2 [23]58.1%→[26]68.0%	教育
50	6-2 (上) P131, (F) P124	平成24年度「ハナミズキ・ブ ロジエクト」における教育施 設として、県立のみならず、民間 のみならず、高等学級の取組を示 す取組を加え、指標の見直し を行う。	文書の修正、数値目標の変更	●「ハナミズキ・ブ ロジエクト」における教育施 設として、病弱等を伴う発達障害の生徒に対し、全 国に先駆けた「オンリーワン施設」となる「徳島 県立みなと高等学級」を設置します。	●「ハナミズキ・ブ ロジエクト」における教育施 設として、病弱等を伴う発達障害の生徒に対し、全 国に先駆けた「オンリーワン施設」となる「徳島 県立みなと高等学級」を設置し、発達障害教育を 推進します。	○徳島県立みなと高等学級の設置 [24]開校	○徳島県立みなと高等学級の設置 [24]開校	教育

該当箇所 計画の 位置付 け	改訂見直しの趣旨	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	数値目標	
6-3 P128 (下)	(見直し評価協議会議) 自転車事故率という数値目標 について、いかにも多くの事 故が起こっているという印象 を受けたいよう、現状が把握 できる表示方法を検討してほ しい。	(数値目標の変更) 児童生徒の交通事故は毎年400件以 上発生している。自転車事故だけ でなく、すべての交通事故を減少 させるため、数値目標を改める。	<p>●地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ポランティア活動の支援を行い、幼児・児童生徒の安全確保を図る取組を継続的に推進します。</p> <p>○あん・あんサポーターネットワークの組織化 [21] ー → [26] 全中学校区に組織</p> <p>○あん・あんサポーター(スクールガードリーダー)等を核とした学校安全ポランティア)の登録数 [21] ー → [26] 12,000人</p> <p>○児童生徒の交通事故発生件数 [21] 事故件数449件 → [26] 事故件数400件以下</p> <p>○地域住民参加の防災訓練実施数 [21] ー → [26] 全小・中・高校で実施</p>	<p>●地域住民の積極的な参加による防犯・交通安全・防災の総合的な学校安全ポランティア活動の支援を行い、幼児・児童生徒の安全確保を図る取組を継続的に推進します。</p> <p>○あん・あんサポーターネットワークの組織化 [21] ー → [26] 全中学校区に組織</p> <p>○あん・あんサポーター(スクールガードリーダー)等を核とした学校安全ポランティア)の登録数 [21] ー → [26] 12,000人</p> <p>○児童生徒の交通事故発生件数 [21] 事故件数449件 → [26] 事故件数400件以下</p> <p>○地域住民参加の防災訓練実施数 [21] ー → [26] 全小・中・高校で実施</p>	<p>●「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンラインワークショップをより一層推進し、学校と地域との連携を強め、生徒の主体的な活動を引き出しながら、全国に発信できる組織ならではの取組を行う。日本のオンラインワークショップを目標とします。</p> <p>○「オンラインワークショップ」実施校(累計) [22] 7校 → [24] 21校</p> <p>○「スーパードン・オンラインワークショップ」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) [24] ー → [26] 18事例</p>	教育	
6-3 P133, P129 (上)	これまでの地域貢献を行うワークショップを支援する「元気とくしまプロジェクト」は、さらに伸ばすことにより、全国的なレベルアップを図ることができたので、平成24年度で終了、さらに「地域貢献」から「全国」、「世界」を目標とする取組や研究を行う学校を支援する「スーパードン」 として再構築を行う。	<p>文書の修正、数値目標の変更、数値目標の新規設定</p>	<p>●「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンラインワークショップをより一層推進し、学校と地域との連携を強め、生徒の主体的な活動を引き出しながら、地域に貢献する学校づくりを進めるとともに、学校と地域の好循環を促します。</p> <p>○「オンラインワークショップ」実施校(累計) [22] 7校 → [26] 35校</p>	<p>●「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンラインワークショップをより一層推進し、学校と地域と連携を強め、生徒の主体的な活動を引き出しながら、全国に発信できる組織ならではの取組を行う。日本のオンラインワークショップを目標とします。</p> <p>○「オンラインワークショップ」実施校(累計) [22] 7校 → [24] 21校</p> <p>○「スーパードン・オンラインワークショップ」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) [24] ー → [26] 18事例</p>	<p>●「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンラインワークショップをより一層推進し、学校と地域と連携を強め、生徒の主体的な活動を引き出しながら、全国に発信できる組織ならではの取組を行う。日本のオンラインワークショップを目標とします。</p> <p>○「オンラインワークショップ」実施校(累計) [22] 7校 → [24] 21校</p> <p>○「スーパードン・オンラインワークショップ」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計) [24] ー → [26] 18事例</p>	教育	

該当箇所 計画の位置付け	改定見直しの特徴	改定見直しの概要	現行		改定見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
6-5 (上) P137. (下) P133	活動拠点機能の県南部・県西部での展開時期を、当初の平成25年度から前倒しし平成25年度とする。	工程の前倒し	<p>●「とくぎんモニブラザ」を核とし、さらに県南、県西への拠点機能を整備することにより、全国的な青少年の活動拠点機能を整備します。</p> <p>○県内拠点機能数 [2]11箇所→[26]3箇所</p>	<p>●「とくぎんモニブラザ」を核とし、さらに県南、県西への拠点機能を整備することにより、全国的な青少年の活動拠点機能を整備します。</p> <p>○県内拠点機能数 [2]11箇所→[23]3箇所</p>	県民		
7-1 (5-1) (上) P141. (下) P106. P138	(県政運営評価戦略会議) 児童虐待が増加している中、「養育支援訪問事業」を26年度には全市町村にとり、取組方針が働かすべく、早く、早急に全市町村が実施できるようにする。	(工程の前倒し) 児童虐待の発生予防の観点から、児童虐待からの支援、保護者の養育能力を向上させる支援、訪問による養育支援が特に必要な家庭に交際を行う「養育支援訪問事業」が全市町村において実施されるよう、積極的に働きかけ、目標を前倒しする。	<p>●要配慮児童対策地域協議会を活用し、必要な支援を実施することにより、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。</p> <p>○「養育支援訪問事業」実施市町村数 [2]13市町村→[26]全市町村</p>	<p>●要配慮児童対策地域協議会を活用し、必要な支援を実施することにより、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。</p> <p>○「養育支援訪問事業」実施市町村数 [2]13市町村→[25]全市町村</p>	保健		
7-3 (上) P145. (下) P142	(県政運営評価戦略会議) 数値目標は達成しており、交流の効果が上がっているが、地区を想いやすものや考えを考えて移住者を受け、移住者の増加や雇用拡大という観点から、すでに進んでいるサテライトオフィスの取組をさらに推進していくこととし、追加する。	(文責の修正、数値目標の上方修正、数値目標の新増設) 移住・交流の成果を把握するため、「移住・交流支援センター」の設置地域に加え、新たに「移住・交流支援センター」が指定された「県外支援センター」の移住者数から、移住者の増加や雇用拡大という観点から、すでに進んでいるサテライトオフィスの取組をさらに推進していくこととし、追加する。	<p>●移住等に際する情報・魅力発信を行うため、地域の実情に柔軟に対応し、地域の創意工夫が活かせる総合的な支援を行う「移住・交流支援センター」の整備や市長選、選任施設を活用したサテライトオフィスの取組などを推進し、県と市町村が連携・協働した積極的な移住・交流の促進を図ります。</p> <p>○「移住・交流支援センター」の設置地域数 [2]18地域→[26]14地域</p>	<p>●移住等に際する情報・魅力発信を行うため、地域の実情に柔軟に対応し、地域の創意工夫が活かせる総合的な支援を行う「移住・交流支援センター」の整備や市長選、選任施設を活用したサテライトオフィスの取組などを推進し、県と市町村が連携・協働した積極的な移住・交流の促進を図ります。</p> <p>○「移住・交流支援センター」の設置地域数 [2]18地域→[26]14地域</p> <p>○県外からの移住者数(累計) [23]111→[26]180人</p>	政策		

計画の 位置付 け	該当箇所	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部署
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
56	(上) P149 (下) P148	(県政運営評価戦略会議) 関係助成以外の取組が不明で あり、また、どの程度の益 が期待されたかが不明であ る。 今後の取組方針においても、 課題に据げた他地域との差別 化についての具体的な取組が必 要である。	(文書の修正、数値目標の変更) 「国際ミーンディング・エクス ポ」の出版、「中四国地区コンベン ション防犯協議会」や四国運輸局 等と協力した海外での現地セミ ナーの開催などの取組を推進し、 徳島の認知度の向上や関係助成を PRするとともに、MICE防犯 そのものに対する助成に加え、 運輸雲能等アトラクションの開催 伝播を図る。 また、関係助成対象以外について も集計し、数値目標を見直す。	◎地元の実業や大学等の高等教育機関との連携強 化や四国広域連合との連携などにより、コンベン ション参加者数の倍増を目指します。	◎大学等関係機関との連携強化や四国広域連合で の連携、トレンドショーへの出席により全国へ値 販促進を行うとともに、郷土産品を活用した「益 もてなし」など本県ならではのコンベンションを推 進することにより、コンベンション参加者数の 倍増を目指します。	◎コンベンション(中四国規模以上)の参加者 数 [21]30,433人ー[26]80,000人	◎コンベンション(中四国規模以上)の参加者 数 [21]56,836人ー[26]110,000人	商工
57	(下) P150	リダダンシーの建設や最新 のニュー線技術による技術立国 日本の再生などに資する「四 国新幹線の実現」を目指す。	主要事業の新規設定		1 四国新幹線実現への取組 ◎日本全体の新しい「リダダンシー」の建設・ 「二眼レフ構造」の国土建設や、最新の建設機 械による「技術立国日本の再生」など、日本再生 の原動力となる四国新幹線の実現を目指します。		政策・ 県土	
58	(下) P151	(県政運営評価戦略会議) 昨年度の評価でも様々な議論 の後、C評価を付けた。しかし し、それ以降も不祥事が発生 している。今やついでに取組 の乏しさを痛感している。再 発防止について検討すべき と考へ、「D評価」とし た。	(文書の修正) 「県職員倫理審査会」及び「監察 局」による県民目線に寄づく チェックを実施するとともに、 チエックの意見をもち、人事課によ る抜き打ちの特別調査、制度所管 課による物品購入手続や公用車使 用の適正化、情報セキュリティ対 策に係るチエックの強化を図り、 職員一人ひとりにまで意識が浸透 するよう努める。	◎県職員の職務執行の公正さを確保するため、 「県職員倫理審査会」、「監察局」によるチエッ クを行うとともに、これらを実践させた職務執行の 見直しや、職員一人ひとりに対する県民目線の感 謝の徹底を図ります。	◎県職員の職務執行の公正さを確保するため、 「県職員倫理審査会」、「監察局」によるチエッ クを行うとともに、これらを実践させた職務執行の 見直しや、職員一人ひとりに対する県民目線の感 謝の徹底を図ります。		経営	

該当箇所の 計画の 位置付け	改訂見直し(案)		改訂見直しの概要	現行	主要事業名・事業概要・数値目標	部署
	該当箇所	改訂見直しの趣旨				
7-5 P151	(下) P151	(県政運営評価戦略会議)昨年夏の評価でも様々な議論の後、C評価を付けた。しかし、それ以降も不祥事が発生している。今やついでに取組のさく、新たな視点も入れて再発防止について検討すべきであると考へ、「D評価」とした。	(文書の修正)コープボランティアアンスハンスハンドブックや事例に載っている実践をよきものとして、定期的なアングケートの実施など新たな視点や個人に内在する課題の早期発見に努め、これを解消することににより、職員一人ひとりに対する倫理意識の徹底を図る。	●県民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、公務員に対する信頼の確保を図るため、「徳島県の公務員倫理」に関する条例の適切な適用を行います。	●県民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、公務員に対する信頼の確保を図るため、「徳島県の公務員倫理」に関する条例の適切な適用を図るとともに、職員一人ひとりに対して倫理意識を徹底するたための取組を推進します。	経営
7-5 P151	(下) P151	職場における「OJTの強化」など、人材育成を効果的に進めるとともに、人材育成を活性化し、業務の質の向上、使命感の醸成といった「職場力の強化」を図る。加えて、担当者一対一の役割の明確化、権限の強化を行い、担当内における「チエック機能」や「リーダーマネジメント」が発揮される体制への見直しを行い、不祥事やつうかりミスを防止することができる。	(文書の修正)職場における「OJTの強化」など、人材育成を効果的に進めるとともに、人材育成を活性化し、業務の質の向上、使命感の醸成といった「職場力の強化」を図る。加えて、担当者一対一の役割の明確化、権限の強化を行い、担当内における「チエック機能」や「リーダーマネジメント」が発揮される体制への見直しを行い、不祥事やつうかりミスを防止することができる。	●公平・公正な職務執行の確保のため、「コンプライアンス基本方針」に基づき、担当内における「チエック機能」や「リーダーマネジメント」が發揮される体制への取組を推進し、「職員倫理意識の徹底」、内部チェック機能の充実強化を図ります。	●公平・公正な職務執行の確保のため、「コンプライアンス基本方針」に基づき、「職員倫理意識の徹底」を図ります。また、担当内における「チエック機能」や「リーダーマネジメント」が發揮される体制への取組を行い、不祥事やつうかりミスを防止することが出来る組織づくりを進めます。	経営

(2) 数値目標の上方修正のみの項目

該当箇所 設置の 位置付 け	改訂見直し趣旨	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		都局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
1 1-1 (下) P7	(数値目標の上方修正 目標設定時に想定していた 学官地域連携事業に加え、 平成22・23年度にふるさと 再生事業で事業を実施した ことにより、既に26年度 も達成しているため、成 果・効果の更なる向上を 目指し、学官地域連携事 業の目標数値について、 上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>「。一とくしま推進プラン」について、「。一とくしま推進会議」において適切に進行管理するとともに、「(財) 。一とくしま推進財団」において具体的な課題に取り組みなど、官民一体となって 推進します。</p> <p>○「(財) 。一とくしま推進財団」を活用した 産学官地域連携事業数(累計) [21]48事業→[26]125事業</p>	<p>「。一とくしま推進プラン」について、「。一とくしま推進会議」において適切に進行管理するとともに、「(財) 。一とくしま推進財団」において具体的な課題に取り組みなど、官民一体となって 推進します。</p> <p>○「(財) 。一とくしま推進財団」を活用した 産学官地域連携事業数(累計) [21]48事業→[26]125事業</p>	政策	政策	
2 1-1 (上) P61, (下) P7	平成23年3月に県下全域にブ ロードバンド整備が完了 し、FTTH加入希望者はす ぐに加入できる状況にな ったことにより、平成23 年度に普及が達成してい るため、既に26年度目標 も達成しているため、成 果・効果の更なる向上を 目指し、FTTHサービスの 世帯普及率の目標数値に ついて、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>「全県CATV*網構想」で整備したブロードバ ンド*設備の活用を促進し、多様化・大容量化する コンテンツをスムーズに配信できるFTTH* サービスの普及促進に努めます。</p> <p>○FTTHサービスの世帯普及率 [21]32.3%→[26]40.0%</p>	<p>「全県CATV*網構想」で整備したブロードバ ンド*設備の活用を促進し、多様化・大容量化する コンテンツをスムーズに配信できるFTTH* サービスの普及促進に努めます。</p> <p>○FTTHサービスの世帯普及率 [21]32.3%→[26]45.0%</p>	政策	政策	
3 1-1 (下) P8	目標設定時に想定していた人 材育成研修に加え、被災後 の業務遂行に有効な「被災者 支援システム」の導入を推進 するための研修を行ったこと により、既に26年度目標 も達成しているため、成 果・効果の更なる向上を 目指し、人材育成研修参加 人数の目標数値について、 上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>自治体職員等を対象とした人材育成研修を実施 し、組織における持続可能なICTの活用・推進を 図ります。</p> <p>○人材育成研修参加人数(累計) [21] ー → [26]48人</p>	<p>自治体職員等を対象とした人材育成研修を実施 し、組織における持続可能なICTの活用・推進を 図ります。</p> <p>○人材育成研修参加人数(累計) [21] ー → [26]122人</p>	政策	政策	

該当箇所 計画の 位置付 け	該当頁	改定見直し の趣旨	改定見直し の概要	現行		改定見直し(案)		部局
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
1-2	(上) P65, (下) P13	「四国グリーンツーリズム推進協議会」による研修会を平成23年度の乗継値が平成26年度目標値を上回ったことから、成果・効果の更なる向上を目指し、グリーン(ブルー)・ツーリズムインストラクター数(累計)の目標値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>●本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土産物など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげていくとともに、県南や県西における教育旅行の受入拡大を支援すること、県民参加型の観光客誘致を推進します。</p> <p>○体験型教育旅行における協議会受入泊数(累計) [21]6,181泊→[26]29,700泊</p> <p>○グリーン(ブルー)・ツーリズムインストラクター数(累計) [21]32人→[26]47人</p>	<p>●本県の持つ豊かな自然や食材、伝承された知恵や技術、個性ある郷土産物など、本県ならではの地域資源を活用した体験メニューを磨きあげていくとともに、県南や県西における教育旅行の受入拡大を支援すること、県民参加型の観光客誘致を推進します。</p> <p>○体験型教育旅行における協議会受入泊数(累計) [21]16,181泊→[26]29,700泊</p> <p>○グリーン(ブルー)・ツーリズムインストラクター数(累計) [21]32人→[26]47人</p>	農工・農林		
1-2	(上) P65, (下) P13	(数値目標の上方修正) 県単事業で開業支援のための説明会を実施した他、果のホーテムペーショやパンフレットの配布によりPRした結果、平成23年度の実績が平成25年度目標値を上回ったことから、成果・効果の更なる向上を目指し、とくしま農林漁家民宿数(累計)の目標値の上方修正を行う。	(数値目標の上方修正)	<p>●四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズム*を推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。</p> <p>○とくしま農林漁家民宿*数(累計) [21]5軒→[26]15軒</p>	<p>●四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズム*を推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。</p> <p>○とくしま農林漁家民宿*数(累計) [21]5軒→[26]17軒</p>	農林		
2-1	(上) P75, (下) P29	社会情勢の変化にともない、建設業等からの新規参入が増加したことにより、平成23年度の実績値が目標値を上回っていることから、成果・効果の更なる向上を目指し、他産業からの農林水産業への参入数の目標値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>●農林水産業の担い手として、建設業など企業の農林水産業分野への新規参入を支援し、企業の活動のノウハウを活かした農林水産業の展開を推進します。</p> <p>○他産業からの農林水産業への参入数(累計) [21]29社→[25]44社</p>	<p>●農林水産業の担い手として、建設業など企業の農林水産業分野への新規参入を支援し、企業の活動のノウハウを活かした農林水産業の展開を推進します。</p> <p>○他産業からの農林水産業への参入数(累計) [21]29社→[26]52社</p>	農林		

計画の位置付け	該当箇所	改定見直しの趣旨	改定見直しの概要	改定見直し(案)		部署
				現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
2-5 (6-5)	(下) P42, P135	広域を積極的に行った結果、「徳島県若者サポーターシステム」の新規登録者数が増加したことなどにより、平成23年度の突進値が目録数値を大幅に上回り、平成26年度の突進値も既に上回っているため、目標数値について上方修正する。	数値目標の上方修正	◎若年無業者(ニート*)等の就業を支援するため、「徳島県若者サポーターシステム」において、専門家による個別相談等を実施するとともに、支援機関のネットワークを活用し、支援が必要な若年者の適切な誘導を行います。 ○徳島県若者サポーターシステムにおける進路決定者数(累計) [21]196人→[26]480人	主要事業名・事業概要・数値目標	商工
2-5	(上) P83, (下) P42	経済団体等と「産業人材育成に閉する協定」を締結するなど企業等との連携を強めたことにより、平成23年度の突進値が目標数値を大幅に上回り、平成24年度の突進値見込みが目標値を上回ると推計されるため、養成訓練生の就職率及び在職者訓練の受訓者数の目標値について上方修正を行う。	数値目標の上方修正	◎産業界との連携のもと、テクノスクール3校の訓練内容を充実強化し、実践力のある人材育成・供給を推進します。 ○養成訓練生の就職率 [21]73%→[26]86% ○在職者訓練の受講者数(延べ人数) [21]409人→[26]1,500人	主要事業名・事業概要・数値目標	商工
2-6 (3-3)	(上) P85, (下) P44, P70	平成23年度からGAPを導入した年度に専従者、利益のPRに努めた結果、認定件数が増加した。このため、平成24年度の突進見込みは平成26年度目標値を上回ると推定されるため、認定件数の更なる向上を目標とし、目標値について上方修正を行う。	数値目標の上方修正	◎履歴管理制度(トレーサビリテイシステム*)を活用し、農産物の安全、環境保全、労働安全について国の高度なGAP基準を取り入れた「とくしま安2GAP認定制度」により、安全で安心な農産物を供給します。 ○とくしま安2GAP認定件数(累計) [21]65件(1,518人) →[26]160件(3,000人)	主要事業名・事業概要・数値目標	農林
2-6	(下) P46	平成24年8月、9月に三好市及び粟みよし町で、そばの栽培等を推進するそばづくりの協議会が設立されたことから、現行の取組に加え、阿波そばを主眼とした6次産業化を旨とする事業体の育成を推進することとし、数値目標を見直す。	数値目標の上方修正	◎東西部圏域において、「にし阿波ならでは」の農産物を用いた特産品づくりを、6次産業化により進めず。 ○「にし阿波ならでは」の農産物を用いた6次産業化に取り組みモデル組織数(累計) [21]2組織→[26]5組織	主要事業名・事業概要・数値目標	西部

該当箇所 計画の 位置付 け	該当頁	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部局
				主要事業名・事業概要・数値目標	改善見直し(案)	主要事業名・事業概要・数値目標	改善見直し(案)	
2-7	(上) P87, (下) P51	木造住宅の建築支援の対象を県外へ拡大したことにより、平成23年度実績が平成25年度目標数値を上回ったことから成果・効果の更なる向上を目指す、「徳島すぎの家」を協力店数の目標数値について上方修正を行う。	数値目標の上方修正	●県外消費の拡大を図るため、工務店や設計士との連携を進めるとともに、大消費地への販路拡大に向けた普及活動を展開します。 ○県外における「徳島すぎの家」協力店数(累計) [21] ー → [26] 31店 ○県産材の県外出荷量 [21] 13万m ³ → [26] 19.5万m ³	●県外消費の拡大を図るため、工務店や設計士との連携を進めるとともに、大消費地への販路拡大に向けた普及活動を展開します。 ○県外における「徳島すぎの家」協力店数(累計) [21] ー → [26] 31店 ○県産材の県外出荷量 [21] 13万m ³ → [26] 19.5万m ³	農林		
3-1	(下) P57	東日本大震災発生後、県民及び教育機関の地震・津波に対する危機意識が高まり、平成23年度の実績値が目標数値を大きく上回っており、24年度の実績見込みが目標値を上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を指し、防災講座・訓練等実施回数目標数値について、上方修正する。	数値目標の上方修正	●県南部圏域における次世代の防災活動の担い手を育成するため、出前講座や南部防災館を活用した体験学習、防災訓練等を行うほか、学校や地域の中で子どもたちの防災力を育む取組を支援すること、防災教育の充実を図ります。 ○子どもたちを対象にした防災講座・訓練等実施回数 [21] 年5回 → [26] 年45回	●県南部圏域における次世代の防災活動の担い手を育成するため、出前講座や南部防災館を活用した体験学習、防災訓練等を行うほか、学校や地域の中で子どもたちの防災力を育む取組を支援すること、防災教育の充実を図ります。 ○子どもたちを対象にした防災講座・訓練等実施回数 [21] 年5回 → [26] 年55回	南部		
3-1	(下) P58	県民の防犯意識が高まる中、より一層の自主防犯ボランティア育成を図るため、リアリティーのある研修への参加を強く促すとともに、警察署、各地防犯協会、市町村、教育委員会等関係機関と連携を強化した結果、平成23年度の実績値が目標数値を上回り、平成26年度目標数値をも上回ったことから、成果・効果の更なる向上を目指す。自主防犯ボランティア団体リーダー研修受講者数の目標数値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	●「徳島県安全で安心なまちづくり条例」に基づき、地域自主防犯活動を促進するとともに、犯罪の防止に配慮したまちづくりを推進します。 ○自主防犯ボランティア団体リーダー研修受講者数(累計) [21] 322人 → [26] 400人	●「徳島県安全で安心なまちづくり条例」に基づき、地域自主防犯活動を促進するとともに、犯罪の防止に配慮したまちづくりを推進します。 ○自主防犯ボランティア団体リーダー研修受講者数(累計) [21] 322人 → [26] 820人	危機		

該当箇所 計画の 位置付 け	改定見直し の趣旨	改定見直しの概要	現行		改定見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
14 3-3 (上) P97, (下) P71	インターンシップに要する旅費の一部負担など学生が参加しやすい工夫を行うことにより、平成23年度の実績値が目標値に現状で既に達成しており、成果・効果の異なる向上を目標とし、獣医学生数のインターンシップ年間受入人数の目標値について、平成25年度の目標数値を10名から12名に上方修正する。	数値目標の上方修正	<p>●獣医学生に対し、修学資金の貸与、獣医職員の勤務機関でのインターンシップ*を通じ、家畜伝染病予防、食肉衛生検査業務等の理解を深めることにより、本県獣医師の確保を図り、食の安全・安心に係る業務を推進します。</p> <p>○修学資金制度の創設 [23]創設</p> <p>○獣医学生数のインターンシップ年間受入人数 [21]13人→[26]12人 ([23]16人、[24]8人、[25]10人、[26]12人)</p> <p>○獣医師修学資金貸与者数(累計) [21] → [26]16人</p>	<p>●獣医学生に対し、修学資金の貸与、獣医職員の勤務機関でのインターンシップ*を通じ、家畜伝染病予防、食肉衛生検査業務等の理解を深めることにより、本県獣医師の確保を図り、食の安全・安心に係る業務を推進します。</p> <p>○修学資金制度の創設 [23]創設</p> <p>○獣医学生数のインターンシップ年間受入人数 [21]13人→[26]12人 ([23]16人、[24]8人、[25]12人、[26]12人)</p> <p>○獣医師修学資金貸与者数(累計) [21] → [26]16人</p>	危険・農林		
15 3-4 (下) P78	献血モバイル会員の登録者数については、若者向けタウン誌の活用等周知に努めたことにより、平成23年度の登録者数が目標値を大幅に上回っており24年度の登録者数を見込み目標値を上回ると推計される向上を目標とし、献血モバイル会員の登録者数の目標値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>●献血について一層の普及啓発を図るとともに、若年層に身近なメディア(タウン誌、携帯電話等)を活用した各種啓発を実施し、献血者の増加を図ります。</p> <p>○若年層献血者数(16歳~29歳) [21]7,181人→[26]8,200人</p> <p>○献血モバイル会員登録者数(累計) [21]1,044人→[26]2,300人</p>	保健			
16 3-5 (上) P101, (下) P81	若年層の拡大や保健所が実施する研修の充実を図ったことにより、平成23年度の実績値が目標値を大幅に上回っており24年度の登録者数を見込み目標値を上回ると推計される向上を目標とし、自衛隊予防サポーター登録者数の目標値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>●「徳島県自殺者ゼロ作戦」に基づき、行政及び民間団体における相談機能の強化や連携体制の構築等により、自殺予防を強力に推進するとともに、「徳島県自殺予防サポーター」(ゲートキーパー、傾聴ボランティアなど)自防、傾聴の研修受講者を新たに養成し、地域における自殺対策の推進を図ります。</p> <p>○自殺予防サポーター養成者数(累計) [21] → [26]12,000人</p>	保健			

該当箇所 計画の 位置付 け	改定見直しの趣旨	改定見直しの概要	現行		改定見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
17 4-1 (下) P83	平成23年度は5つの事業について競争的資金が獲得できなかったことにより目標を達成したため、数値目標の上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>●地球にやさしい環境活動を県民を挙げて推進するため、とくしま環境県民会議が中心となって各主体の自主的・積極的な取組を支援・拡大します。</p> <p>○高等教育機関との産学民官連携協働事業数 (累計) [21] → [26]8件</p>	<p>●地球にやさしい環境活動を県民を挙げて推進するため、とくしま環境県民会議が中心となって各主体の自主的・積極的な取組を支援・拡大します。</p> <p>○高等教育機関との産学民官連携協働事業数 (累計) [21] → [26]8件</p>	改定見直し(案)	部局	
18 4-1 (下) P87	平成23年度は小学校との連携がスムーズに進み、目標を達成したため、数値目標の上方修正を行う。	数値目標の上方修正	<p>●環境学習情報や環境イベントを一元的に集約し、提供する「とくしま環境首都学校」の運営などを通じて、学習機会の提供を行い、県民の環境学習に対する意欲を醸成させることにより、県民一人ひとりの自主的・積極的に環境行動・活動を支援します。</p> <p>○環境アドバイザー派遣件数 [21]39件→[26]45件</p>	<p>●環境学習情報や環境イベントを一元的に集約し、提供する「とくしま環境首都学校」の運営などを通じて、学習機会の提供を行い、県民の環境学習に対する意欲を醸成させることにより、県民一人ひとりの自主的・積極的に環境行動・活動を支援します。</p> <p>○環境アドバイザー派遣件数 [21]39件→[26]60件</p>	部局		
19 4-2 (上) P107, (下) P89	インデイゴソックスの選手をエコ五子に認定するなど、新しい取り組みを行ったことにより取り組みを達成したため、目標数値を上方修正する。	数値目標の上方修正	<p>●産学民官で構成する「とくしま環境県民会議」を中心に市町村や民間企業等と連携して、日常生活における「見える化モデル」として「マイバッグでお買い物隊員」の登録数増加を図ります。</p> <p>○マイバッグでお買い物隊員数(累計) [21] → [26]2,000人以上</p>	<p>●産学民官で構成する「とくしま環境県民会議」を中心に市町村や民間企業等と連携して、日常生活における「見える化モデル」として「マイバッグでお買い物隊員」の登録数増加を図ります。</p> <p>○マイバッグでお買い物隊員数(累計) [21] → [26]4,500人以上</p>	部局		

該当箇所 計画の 位置付	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)	部署
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標		
4-4 (上) P113, (下) P99	<p>国の鳥獣被害防止総合対策交付金を確保し、侵入防止柵の整備やモンキードッグの育成を推進した結果、桑落等で取り組んだ防止施設等の整備件数及びモンキードッグの育成頭数は平成23年度の異動値が目標数値を上回った。今後、成果・効果の更なる向上を目指し、目標数値の上方修正を行う。</p> <p>イノシシ・シカの処理加工施設について、獣肉の利活用や普及を進める上で重要な要素であるため、目標数値の上方修正を行う。</p>	<p>数値目標の上方修正</p>	<p>●農林漁業の生産活動を促進するため、サル・イノシシ・シカ・カワウなどの鳥獣被害対策を総合的に進めます。</p> <p>○市町村被害防止計画の策定数(累計) [21]16市町村→[26]21市町村</p> <p>○桑落等で取り組んだ防止施設等の整備件数(累計) [21]273件→[26]340件</p> <p>○イノシシ・シカの処理加工施設数 [21]17頭→[26]34頭</p> <p>○モンキードッグ*育成頭数 [21]17頭→[26]34頭</p> <p>○広域連携によるカワウ被害防止対策取組河川数 [21]1河川→[26]6河川(県下全主要河川)</p>	<p>●農林漁業の生産活動を促進するため、サル・イノシシ・シカ・カワウなどの鳥獣被害対策を総合的に進めます。</p> <p>○市町村被害防止計画の策定数(累計) [21]16市町村→[26]21市町村</p> <p>○桑落等で取り組んだ防止施設等の整備件数(累計) [21]273件→[26]340件</p> <p>○イノシシ・シカの処理加工施設数 [21]17頭→[26]34頭</p> <p>○モンキードッグ*育成頭数 [21]17頭→[26]34頭</p> <p>○広域連携によるカワウ被害防止対策取組河川数 [21]1河川→[26]6河川(県下全主要河川)</p>	農林	
			<p>●農林漁業の生産活動を促進するため、サル・イノシシ・シカ・カワウなどの鳥獣被害対策を総合的に進めます。</p> <p>○市町村被害防止計画の策定数(累計) [21]16市町村→[26]21市町村</p> <p>○桑落等で取り組んだ防止施設等の整備件数(累計) [21]273件→[26]340件</p> <p>○イノシシ・シカの処理加工施設数 [21]17頭→[26]34頭</p> <p>○モンキードッグ*育成頭数 [21]17頭→[26]34頭</p> <p>○広域連携によるカワウ被害防止対策取組河川数 [21]1河川→[26]6河川(県下全主要河川)</p>			

4-5 (上) P115, (下) P102	<p>民間企業が所有する森林での認証が促進されていること、平成23年度の実績が平成25年度の目標数値を上回ることから、成果・効果の更なる向上を目指すため、オフセット・クレジット(J-V E R)認証面積の目標数値について、上方修正を行う。また、国の制度改正により名称が変更となるため、これに併せて数値目標項目名の変更を行う。</p>	<p>文書の修正、数値目標の上方修正</p>	<p>●森林の重要性をPRするとともに、ボランティアや企業・県民と協働した森づくり活動や、森林のCO2吸収量を活かした排出量取引制度の導入を推進します。</p> <p>○県民参加による植樹など森づくり件数(累計) [21]12件→[26]60件</p> <p>○カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数(累計) [21]15企業・団体→[26]100企業・団体</p> <p>○個人寄附金による森づくり箇所数(累計) [21]1箇所→[26]5箇所</p> <p>○オフセット・クレジット(J-V E R) *認証面積(累計) [21]129ha→[26]650ha</p> <p>○関西広域連合における「森林づくりカーボン・オフセット制度」の創設 [26]創設</p>	<p>●森林の重要性をPRするとともに、ボランティアや企業・県民と協働した森づくり活動や、森林のCO2吸収量を活かした排出量取引制度の導入を推進します。</p> <p>○県民参加による植樹など森づくり件数(累計) [21]12件→[26]60件</p> <p>○カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数(累計) [21]15企業・団体→[26]100企業・団体</p> <p>○個人寄附金による森づくり箇所数(累計) [21]1箇所→[26]5箇所</p> <p>○森林吸収量取引制度認証面積(累計) [21]129ha→[26]1180ha</p> <p>○関西広域連合における「森林づくりカーボン・オフセット制度」の創設 [26]創設</p>	農林 県民
			<p>○県民参加による植樹など森づくり件数(累計) [21]12件→[26]60件</p> <p>○カーボン・オフセットに基づく森づくり企業・団体数(累計) [21]15企業・団体→[26]100企業・団体</p> <p>○個人寄附金による森づくり箇所数(累計) [21]1箇所→[26]5箇所</p> <p>○森林吸収量取引制度認証面積(累計) [21]129ha→[26]1180ha</p> <p>○関西広域連合における「森林づくりカーボン・オフセット制度」の創設 [26]創設</p>		

計画の位置付け	該当箇所	改定見直しの趣旨	改定見直しの概要	現行		改定見直し(案)		部局
				主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
22	5-1 (上) P117, (下) P107	平成23年の法改正(一般事業主行動計画策定・届出の義務を拡大)を踏まえ、国と連携し広域を積極的に進めたことなどにより、平成23年度の実績値が目標数値を大幅に上回り、平成24年度の実績見込みが目標値を上回ると推計されるため、成果・効果の更なる向上を目標とし、「一般事業主行動計画策定・届出事業所数(累計)」の目標数値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	● 県内企業等への戸別訪問やセミナーなどを実施し、中小企業等における「一般事業主行動計画」の策定や「ホスピティブ・アクション」の積極的な取組を促進することにより、仕事と子育て等が両立するための環境整備を進めます。	● 県内企業等への戸別訪問やセミナーなどを実施し、中小企業等における「一般事業主行動計画」の策定や「ホスピティブ・アクション」の積極的な取組を促進することにより、仕事と子育て等が両立するための環境整備を進めます。	○ 一般事業主行動計画策定・届出事業所数(累計) (100人以下の事業所) [21]149事業所→[26]280事業所	○ 一般事業主行動計画策定・届出事業所数(累計) (100人以下の事業所) [21]149事業所→[26]280事業所	商工
23	6-1 (上) P129, (下) P123	インタナーシップ関連事業の実施、キャリア教育の理解等に向けた小冊子「キャリアアワード」の配布や校長会での実施依頼により、インタナーシップ実施率が目標値を上回ったので、現状に合った目標値に見直す。	数値目標の上方修正	● 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験や就業体験の取組を推進します。	● 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験や就業体験の取組を推進します。	○ 高校におけるインタナーシップの実施率 [21]54%→[26]90%	○ 高校におけるインタナーシップの実施率 [21]54%→[26]90%	教育
24	6-3 (上) P133, (下) P128	(県政運営評価戦略会議) 全校に防災クラブを設置し、クラブを通じて対応能力の向上を図るべきであるが、防災クラブの設置が進んでいないため、防災クラブの設置を進めたい。	(数値目標の上方修正) 防災クラブの設置は、全国的にも例を見ない先進的な取組であり、実施にあたっては様々な検討をしながら進めているところである。1年目は津波被害の想定される沿線の学校5校を、2年目は土砂災害や洪水等の被害が想定される地域の学校を含めた5校を指定し、実施してきた。今後とも地域と連携し優れた取組を普及し、防災クラブの設置を進めるだけ前倒しを進めていきたい。	● 地域住民と連携した防災教育を推進し、児童生徒の防災対応能力の向上と地域防災の強い手の育成を図ります。	● 地域住民と連携した防災教育を推進し、児童生徒の防災対応能力の向上と地域防災の強い手の育成を図ります。	○ 県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計) [21] → [26]20校以上 ([23]5校、[24]10校、[25]15校以上、[26]20校以上)	○ 県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計) [21] → [26]20校以上 ([23]5校、[24]10校、[25]15校以上、[26]20校以上)	教育

該当箇所 計画の 位置付	改訂見直しの趣旨	改訂見直しの概要	現行		改訂見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
25 6-4 (上) P135 (下) P132	(県政運営評価戦略会議) 食育ボランティアとの連携が 難しい状況下では本事業の推 進は難しく、根本的な見直し が必要と判断して、C評価と した。	(数値目標の上方修正) 食育を効果的に進めるためのスキ ルアップ研修会、事例研修会や報 告会を実施し、さらに、この ボランティアを校として、学校教育や 地域活動の場における地産地消料 理実習や農林漁業体験、食育教室 を開催するなど食育推進ボラン ティアと「連携」した食育を推進 する。また、数値目標である「食 育推進ボランティア登録数」につ いては上方修正を行う。	●学校や地域における食育を効果的に進めるため、 地産地消料理や郷土料理などを指導するリーダ―を 育成します。	●学校や地域における食育を効果的に進めるため、 地産地消料理や郷土料理などを指導するリーダ―を 育成します。	○食育推進ボランティア登録数(累計) [21]1,391人→[26]1,720人	○食育推進ボランティア登録数(累計) [21]1,391人→[26]1,600人	農林
26 7-2 (下) P140	県下の企業・大学等に広く教 育的に働きかけたところ、平 成23年度の実績が平成25と 年度目標数値を上回ったこと から、事業実施による農山漁 村地域の健全活性化推進を目 指し、農山漁村(ふるさと)協 働パートナーの協定数(累計) の目標数値について、上方修 正を行う。	数値目標の上方修正	●「農山漁村(ふるさと)は県民の宝物」との考え に立ち、「まちとむら」の「協働」による農山漁村 の保全・活性化を促進します。	●「農山漁村(ふるさと)は県民の宝物」との考え に立ち、「まちとむら」の「協働」による農山漁村 の保全・活性化を促進します。	○農山漁村(ふるさと)協働パートナ―の協定 数(累計) [21] -- → [26]35協定	○農山漁村(ふるさと)協働パートナ―の協定 数(累計) [21] -- → [26]20協定	農林
27 7-2 (下) P140	各種情報収集・発信を行う ため、とくしま県民活動プラ ザ内に平成23年度に創設し た「ゆめバンクとくしま」 が、今年度までに想定以上の 利用となり、目標を達成した ため目標数値を見直す。今後 は、創設当初のような増加は 見込めないものの、持続的な増 加に努めていく。	数値目標の上方修正	●夢と活力でにぎわうまちづくりを進めるため、N P-Oのまち上げから自立まで支援します。	●夢と活力でにぎわうまちづくりを進めるため、N P-Oのまち上げから自立まで支援します。	○「とくしま県民活動プラザ」において情報発 信を行っているNPO法人等の団体数 [21] -- → [26]90団体	○「とくしま県民活動プラザ」において情報発 信を行っているNPO法人等の団体数 [21] -- → [26]90団体	県民

計画の位置付け	該当箇所	改訂見直し趣旨	改訂見直しの概要	改訂見直し(案)		部署
				現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
7-2	(上) P143 (下) P141	平成23年度実績より、調査対象を市町村が行うアドプト事業にも広げたこと、100団体を超えたこと、100団体を達成したため、目標数値を再見直し、従来の「調査対象は「横ばい」状態であり、今後、漸進に増加するよう取り組んでいきたい。	数値目標の上方修正	●住民団体や企業等との協働によるアドプトプログラムの取組をさらに推進し、公共土木施設以外の公の施設へも区域の拡大を図るとともに、参加団体の拡大を進めます。 ○アドプト参加団体数 [2] 833団体→[26] 1,020団体	●住民団体や企業等との協働によるアドプトプログラムの取組をさらに推進し、公共土木施設以外の公の施設へも区域の拡大を図るとともに、参加団体の拡大を進めます。 ○アドプト参加団体数 [2] 833団体→[26] 1,020団体	県民
7-3	(上) P145, (下) P143	平成24年度から、農地や農用水などを保全するための共同活動を支えるため、取組がスタートしたため、取組の推進を図った結果、平成24年度実績見込みが目標数値を上回ることで、成果・効果の更なる向上を目指し、目標数値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	●農産生産の維持・拡大を図るため、地域ぐるみでの耕作放棄地の発生防止や集約的かつ持続可能な体制整備、農地・農用水の保全の取組を支援します。 ○「中山間地域等直接支払制度*」の乗添で地域農産を支える体制づくりに取り組んだ乗添数 [2] ー → [24] 164乗添 ○農地や農用水などを保全するため共同活動に取り組んだ活動組織数 [23] 104組織→ [26] 109組織	●農産生産の維持・拡大を図るため、地域ぐるみでの耕作放棄地の発生防止や集約的かつ持続可能な体制整備、農地・農用水の保全の取組を支援します。 ○「中山間地域等直接支払制度*」の乗添で地域農産を支える体制づくりに取り組んだ乗添数 [2] ー → [24] 164乗添 ○農地や農用水などを保全するため共同活動に取り組んだ活動組織数 [23] 104組織→ [26] 109組織	農林
7-4	(上) P149, (下) P147	「マチ☆アソビ」の年間参加者やイベントの開催などにより、国際映画祭やイベントの開催などが数回実施されたことにより、平成23年度の実績値が目標数値を大きく上回っており、平成24年度の実績も目標数値を達成していることから、目標数値を上方修正する。	数値目標の上方修正	●「マチ☆アソビ」に新たなイベントを加え、拡大するとともに、新聞・テレビ・雑誌・WEBや衛星放送等あらゆるメディアを活用し、全世界への情報発信を強化します。 ○「マチ☆アソビ」年間参加者数 [22] 59,000人→ [26] 70,000人 ○「国際アニメ映画祭」の開催 [23] 開催	●「マチ☆アソビ」に新たなイベントを加え、拡大するとともに、新聞・テレビ・雑誌・WEBや衛星放送等あらゆるメディアを活用し、全世界への情報発信を強化します。 ○「マチ☆アソビ」年間参加者数 [22] 59,000人→ [26] 100,000人 ○「国際アニメ映画祭」の開催 [23] 開催	商工

担当箇所 計画の 位置付 け	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部局
			主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	主要事業名・事業概要・数値目標	
7-5 (下) P151	県民からの問い合わせを分析し、F A Qへ反映させるとともに、新しい情報更新したため、目標数値を上方修正する。	数値目標の上方修正	●県民からの電話による問い合わせを一元的に受け付ける県庁コールセンター「すだちくんコール」や「県庁サービスセンター」及び各総合県民局「県民センター」において、県民の県政に対する意見、苦情、照会、相談等に的確かつ迅速に対応するとともに、よくある質問をF A Qとして整理・情報提供し、サービス向上を図ります。	●県民からの電話による問い合わせを一元的に受け付ける県庁コールセンター「すだちくんコール」や「県庁サービスセンター」及び各総合県民局「県民センター」において、県民の県政に対する意見、苦情、照会、相談等に的確かつ迅速に対応するとともに、よくある質問をF A Qとして整理・情報提供し、サービス向上を図ります。	○コールセンターでの対応完了率 [21] → [26] 60%	○コールセンターでの対応完了率 [21] → [26] 60%	県民
7-5 (下) P151	県のホームページでの公表について、突発機関が積極的に取り組み、各機関が積極的に取り組んだ結果、平成23年度の実績が4年間(H23～H26)の目標数値を上回ったため、取組を指し、H26年度までの目標数値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	●県が保有する情報を積極的に「県ホームページ」で公表することにより、県民への迅速な情報の提供など県民サービスの向上を図ります。	●県が保有する情報を積極的に「県ホームページ」で公表することにより、県民への迅速な情報の提供など県民サービスの向上を図ります。	○F A Q月間平均アクセス数 [21] → [26] 3万4千5百件	○F A Q月間平均アクセス数 [21] → [26] 3万4千5百件	経営
7-5 (上) P151, (下) P155	「財政構造改革基本方針」に基づき、全庁を挙げて取り組んで来ており、平成24年度の実績を見込みが目標を上回ると予測されるため、更新する要があることとし、年間実施事業数の目標数値について、上方修正を行う。	数値目標の上方修正	○「情報提供施策の推進に関する要綱」に基づく「公表推進情報」の公表件数 [21] 190件 → [26] 180件	○「情報提供施策の推進に関する要綱」に基づく「公表推進情報」の公表件数 [21] 190件 → [26] 180件	○「情報提供施策の推進に関する要綱」に基づく「公表推進情報」の公表件数 [21] 90件 → [26] 240件	○「情報提供施策の推進に関する要綱」に基づく「公表推進情報」の公表件数 [21] 90件 → [26] 240件	経営

(3) 名称変更に伴う文言修正の項目

該当箇所 計画の 位置付 付	該当頁	変更見直しの趣旨	変更見直しの概要	現行		改善見直し(案)		部署
				主要事業名・事業概要・数値目標	改善見直し(案)	主要事業名・事業概要・数値目標	改善見直し(案)	
1 1-1	(下) P6	仮称から正式名称となったため、文言の修正を行う。	文言の修正	●「新たな観光資源」として、東環状大橋(仮称)の活用を図ります。 ○東環状大橋(仮称)を中心とした周遊コース案内板等の整備 [24]完成	●「新たな観光資源」として、回波しらさぎ大橋の活用を図ります。 ○回波しらさぎ大橋を中心とした周遊コース案内板等の整備 [24]完成	県土		県土
2 1-3 (5-4)	(上) P67, (下) P16, P115	国際的ファンストップ情報発信拠点の名称の決定にともなう、数値目標欄の表現を修正する。	文言の修正	●県内在住外国人との共生はもとより、来県する外国人の拡大を目指し、地域及び海外からの多様なニーズに対応するための国際的ファンストップ情報発信拠点を創設し、県民・行政が一体となった事業を推進します。 ○「国際交流戦略センター(仮称)」の設置 [24]設置・推進	●県内在住外国人との共生はもとより、来県する外国人の拡大を目指し、地域及び海外からの多様なニーズに対応するための国際的ファンストップ情報発信拠点を創設し、県民・行政が一体となった事業を推進します。 ○「とくしき国際戦略センター」の設置 [24]設置・推進	商工		商工
3 1-5	(上) P71, (下) P21	計画の名称を、現在策定中の名称とする。	文言の修正	●新たな「徳島県スポーツ振興基本計画」を策定し、着実な推進を図ります。また、県民をはじめ、各市町村、各スポーツ関係団体等の理解と協力を得て、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」の振興、学校における体育・スポーツの充実を図るとともに、スポーツを活かした各種施策とのより一層の連携強化を図ります。 ○新たな「徳島県スポーツ振興基本計画」の策定 [24]策定・推進	●新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定し、着実な推進を図ります。また、県民をはじめ、各市町村、各スポーツ関係団体等の理解と協力を得て、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」の振興、学校における体育・スポーツの充実を図るとともに、スポーツを活かした各種施策とのより一層の連携強化を図ります。 ○新たな「徳島県スポーツ推進計画」の策定 [24]策定・推進	県民		県民

計画の位置付け	該当箇所	改訂見直し趣旨	改訂見直しの概要	改訂見直し(案)		部門
				現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
2-4	(上) P81、(下) P37	仮称から正式名称となったため、文書の修正を行う。	文書の修正	<p>改訂見直し(案)</p> <p>主要事業名・事業概要・数値目標</p>	<p>現行</p> <p>主要事業名・事業概要・数値目標</p>	<p>LED関連企業100社集積のメリットを活かし、さらに「LEDバレイ構想*」における企業集積のレベルアップや関連企業間、他産業との連携強化及び企業間相互の相乗効果を図り、さらなる成長産業として、LED産業クラスターの形成を推進します。</p> <p>○「LED応用製品性能評価体制」の創設 [23]工業技術センターへ機器配備 →[24]性能評価の本格運用</p> <p>○「LED関連企業協議会(仮称)」の設立 [24]設立</p> <p>○「とくしまLED認証制度(仮称)」の創設 [23]創設</p> <p>○LED関連製品の常設展示 [23]開設</p> <p>○「LED王国」の商標登録 [25]登録</p> <p>○LED関連特許出願件数(累計) [21] → [26]50件</p> <p>○LED関連製品売上高 [21] → [26]500億円</p> <p>○LED関連企業雇用者数(累計) [21]326人 → [26]1,000人</p> <p>○車両用信号灯器のうちLED式信号灯器*の割合 [21]42% → [26]65%</p>

該当箇所 計画の 位置付 け	改定見直しの趣旨	改定見直しの概要	改定見直し(案)		部局
			現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
5 2-7	(上) P87. (下) P90 仮称から正式名称となったため、文言の修正を行う。	改定の修正 文言の修正	●県内消費の拡大を図るため、利用促進に向けた条例を制定するとともに「とくしま木材利用指針」に基づき、毎年1割ずつ県産材の利用量の上積みを目指す「県産材10UP運動」を県民総ぐるみで展開します。	○「徳島県県産材利用促進条例」の制定 [24] 制定 ○公共事業での県産木材使用量 [21] 11,993m ³ →[26] 18,000m ³ ○県内の民間部門における県産木材消費量 [21] 5.8万m ³ →[26] 8.7万m ³	農林
6 3-1	(上) P89. (下) P92 「三連動地震」との表現について、「南海トラフ巨大地震」との表現に身直すとともに、「徳島県危機管理総合調整会議」の構成員の表現を修正する。	改定の修正 文言の修正	●三連動地震*及び国民保護などあらゆる危機事象に対応するため、関係機関の連携により、人材育成や県民への広報活動などを行い、「とくしまを守る力」の向上を図ります。	○「ライフライン事業者・警察・消防・自衛隊等、県内に所在する防災・危機管理関係機関を構成員とした「徳島県危機管理総合調整会議」の設置・開催 [24] 設置	危機
7 3-1	(下) P93 「東南海・南海地震」との表現について、「南海トラフ巨大地震」を想定した「広域防災計画」を見直します。	改定の修正 文言の修正	●大規模災害時ににおける広域防災活動の充実・強化を図るために東南海・南海地震*対応演習、県総合防災訓練等の検証を踏まえて、「広域防災計画」を見直します。	○大規模災害時ににおける広域防災活動の充実・強化を図るために南海トラフ巨大地震を想定した対応演習、県総合防災訓練等の検証を踏まえて、「広域防災活動計画」を見直します。	危機
8 3-1	(下) P95 正式名称の決定	改定の修正 文言の修正	●大規模災害等が発生した場合に、防災関係機関等と連携した円滑な災害対応が行えるよう、スペースや機材の確保等についての検討を進め、県災害対策本部機能の充実・強化を図ります。	○「徳島県防災・危機管理センター」の設置 [24] 設置	危機

計画の位置付け	該当箇所	改定見直しの趣旨	改定見直しの概要	改定見直し(案)		部局
				主要事業名・事業概要・数値目標	現行	
9	3-1	(上) P89、(下) P56 「とくしま防災人材センター」との表現に見直す。	文書の修正	<p>● 県立防災センターに、学校における防災教育等、防災を担う人材を総合的に育成する「防災人材育成センター」を設置します。</p> <p>○ 「防災人材育成センター」の設置 [24] 設置</p>	<p>● 県立防災センターに、学校における防災教育等、防災を担う人材を総合的に育成する「防災人材育成センター」を設置します。</p> <p>○ 「防災人材育成センター」の設置 [24] 設置</p>	危機
10	3-1	(上) P89、(下) P86 「とくしま防災人材センター」との表現に見直す。	文書の修正	<p>● 県立防災センターに設置する「とくしま防災人材センター」と「まなびーあ徳島*」等が連携協力し、県民の誰もが自発的に防災について学ぶことができる「防災生涯学習」体制の整備を進めます。</p> <p>○ 「防災生涯学習コース」の開設 [24] 開設</p>	<p>● 「防災人材育成センター」と「まなびーあ徳島*」等関係機関が連携協力し、県民の誰もが自発的に防災について学ぶことができる「防災生涯学習」体制づくりに進めます。</p> <p>○ 「防災生涯学習コース」の開設 [24] 開設</p>	危機
11	3-1	(上) P89、(下) P57 「県立防災センター」との表現について、「防災人材育成センター」との表現に見直す。	文書の修正	<p>● 県立防災センターが主体となって、学校からの要望に応じて職員等が出向く「まなぼうさい教室」の開催や、教員を「防災教育推進パートナー」として登録・支援するなど、学校における防災教育に対する総合的な支援を行います。</p> <p>○ 「防災教育推進パートナー」の登録(累計) [21] 52人→[26] 300人</p>	<p>● 防災人材育成センターが主体となって、学校からの要望に応じて職員等が出向く「まなぼうさい教室」の開催や、教員を「防災教育推進パートナー」として登録・支援するなど、学校における防災教育に対する総合的な支援を行います。</p> <p>○ 「防災教育推進パートナー」の登録(累計) [21] 52人→[26] 300人</p>	危機
12	3-2	(下) P61 「三連動地震」との表現について、「南海トラフ巨大地震」との表現に見直す。	文書の修正	<p>1 三連動地震への的確な対応</p> <p>● 三連動地震に備える「徳島県地震防災対策行動計画」の着実な推進を図ります。</p>	<p>1 南海トラフ巨大地震への的確な対応</p> <p>● 南海トラフ巨大地震に備える「徳島県地震防災対策行動計画」の着実な推進を図ります。</p>	危機
13	3-2	(上) P93、(下) P61 「三連動地震(東海・東南海・南海地震)」との表現について、「南海トラフ巨大地震」との表現に見直す。	文書の修正	<p>● 東日本大震災を踏まえ、市町村等関係機関とも連携を図り、ハード・ソフト両面からの被災対策を含めた三連動地震(東海・東南海・南海地震)の「被害想定・抜本対策」を創設します。</p> <p>○ 「被害想定・抜本対策」の創設 [23] 創設</p>	<p>● 東日本大震災を踏まえ、市町村等関係機関とも連携を図り、ハード・ソフト両面からの被災対策を含めた南海トラフ巨大地震の「被害想定・抜本対策」を創設します。</p> <p>○ 「被害想定・抜本対策」の創設 [23] 創設</p>	危機

計画の位置付け	該当箇所	改善見直しの趣旨	改善見直しの概要	改善見直し(案)		部局
				現行	主要事業名・事業概要・数値目標	
14	3-2 (下) P61	「国が実施する被害想定」との表現について、「南海トラフ巨大地震に関する想定や対策の検討」の表現を見直す。	文書の修正	●国が実施する被害想定を踏まえ、「東海・南海トラフ巨大地震に関する想定や対策の検討」を見直します。	●南海トラフ巨大地震に関する想定や対策の検討を踏まえ、「東海・南海トラフ巨大地震に関する想定」を見直します。	危機
15	3-2 (上) P93. (下) P61	「三連動地震「対策大綱」策定」及び「とくしま震災対策推進条例」との表現について、「南海トラフ巨大地震に関する想定や対策の検討」及び「徳島県南海トラフ巨大地震等に関する想定」の表現にそれぞれ見直す。	文書の修正	●国の三連動地震「対策大綱」策定を踏まえ、三連動地震に備える「徳島県震災対策推進条例(仮称)」を制定します。 ○「徳島県震災対策推進条例(仮称)」の制定 [24]制定	●国の南海トラフ巨大地震に関する想定や対策の検討を踏まえ、「徳島県南海トラフ巨大地震に関する想定」に強い社会づくり条例を制定します。 ○「徳島県南海トラフ巨大地震に関する想定」に強い社会づくり条例の制定 [24]制定	危機
16	4-1 (6-1) P105, P87, P122	平成24年度から「新学校版環境ISO」がスタートし、(仮称)で表記する必要があるため、(仮称)部分を削除する。	文書の修正	●体験的・実践的環境学習である「新学校版環境ISO」を推進させ、学校と地域がより一層連携し環境学習を行う「新学校版環境ISO」の取組を推進します。 ○「新学校版環境ISO」認証取得校数(累計) [21]ー → [26]250校	●体験的・実践的環境学習である「新学校版環境ISO」を推進させ、学校と地域がより一層連携し環境学習を行う「新学校版環境ISO」の取組を推進します。 ○「新学校版環境ISO」認証取得校数(累計) [21]ー → [26]250校	教育
17	6-4 (上) P135, (下) P131	仮称から正式名称となったため、文書の修正を行う。	文書の修正	●生活や社会、自然体験を通じて、地域で活動できるコーディネーターや、各種講座で学んだ学習成果を活かし、「新しい公共」の視点から学校・家庭・地域の連携推進を支援するスペシャリストを養成し、社会性や思いやりを育む「地域教育力」の向上を図ります。 ○地域教育力再生コーディネーター養成講座受講者数(累計) [21]246人→[24]390人 ○学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数(累計) [21]ー →[26]20人	●生活や社会、自然体験を通じて、地域で活動できるコーディネーターや、各種講座で学んだ学習成果を活かし、「新しい公共」の視点から学校・家庭・地域の連携推進を支援するスペシャリストを養成し、社会性や思いやりを育む「地域教育力」の向上を図ります。 ○地域教育力再生コーディネーター養成講座受講者数(累計) [21]246人→[24]390人 ○学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数(累計) [21]ー →[26]20人	教育

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

平成25年2月12日

徳島県総合計画審議会

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

番号	基本目標	投稿方法	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	基本目標1 にぎわい・感 動とくしま	目安箱	○倉庫群の活用について 万代埠頭などの倉庫群ですが、マンハッタンのSOHO地区のように、名称を「SOKO」地区として、徳島をアピールできる、元気にいられる場所へとさらに活用していければいいと思う。他にも、小松島港周辺など倉庫がある場所と連携し、県内にさまざまな「SOKO」地区を増やし、水上バスなどで結べばさらに良くなるのではないか。	徳島小松島港万代中央地区は、港湾施設としての役割が低下してきており、周辺部の状況も大きく変化していることから、市中心部の水辺に位置する倉庫群の立地を活かし、「物流機能」から「にぎわい空間」へ転換を図ることを目的として、既存の「倉庫」や「水域」を活用した実証実験を行動計画に位置付け取り組んでいる。 また、その中で「倉庫からSOCO(Space Of Community)へ」をコンセプトとしてアピールを行っており、徳島市中心部と万代中央埠頭を結ぶ水上バスの実証実験にも取り組んでいる。	県土
2	基本目標1 にぎわい・感 動とくしま	知事・市町村 長会議	○県南の観光政策の充実について 高知県の室戸岬が世界ジオパークに認定され、高知県と連携して県南ルートの一層の充実を図ってくれないかと期待している。さらに、室戸阿南国定公園が認定されてから、2014年で50周年を迎える。それを視野に入れて県南の観光政策のより一層の充実を図っていただきたい。	阿南市、室戸市、安芸市により「AMA構想」が打ち出され、県境を越えた連携が進められているところであり、県としても、これまで同様バックアップを行っていく。 また、2011年に室戸岬が世界ジオパークに認定されたこと、さらに2014年には、「室戸阿南海岸」が国定公園に認定されたことから50周年を迎えることなどから、今後より一層、国内外から四国東南部エリアが注目を集めることになると考えており、この機会をとらえ、室戸市、安芸市はもとより、周辺町村や高知県とも連携し、これまでに以上にエリアが一致団結したPRを進め、徳島県南部における、観光による交流人口の増加を目指していくこととする。	南部

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

番号	基本目標	投稿方法	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
3	基本目標2 経済・新成長 とくしま	目安箱	<p>○次世代林業プロジェクトの推進について 徳島県が「次世代林業プロジェクト」の取り組みの一環として間伐材を活用した、「自動車の木製ハンドル」、「木製の携帯電話や木製のスマートフォン」、公立学校の「木製の手すり」や「木製ベンチ」、都市公園の「木製ベンチ」、「木製の漁礁」等の推進を期待する。</p>	<p>県では、「次世代林業プロジェクト」の一環として、平成24年4月から「徳島県木材利用創造センター」を開設し、間伐材を含め木材を利用した新商品の開発研究に取り組んでいる。このセンターでは県民の皆様からのアイデアも活用し、様々な製品への利用を推進している。 また、平成25年4月1日施行の「徳島県産材利用促進条例」に基づき、県産材を活用した様々な新商品の開発や木造公共施設等の整備に努め、木材の需要拡大を図り、「次世代林業プロジェクト」を推進していく。</p>	農林
4	基本目標3 安全安心・実 感とくしま	目安箱	<p>○大鳴門橋への自転車道、遊歩道の設置について 徳島県でも大鳴門橋に自転車道、遊歩道を設けてはどうか。ジョギング、ウォーキング、自転車ブームで健康増進への関心が高まっており、また、糖尿病死亡率全国ワースト1返上の可能性もあることから、多くのメリットがあると思う。</p>	<p>雄大な吉野川の景色が堪能できる四国三郎橋や阿波しらす大橋などの自転車歩行者道は、ウォーキング、ジョギング、サイクリングコースとして、多くの県民の皆様にご利用されている。 また、最近の健康志向の高まりを受け、「いけるよ！徳島 行動計画」においては、徳島の自然環境を活かした吉野川沿いと海岸線を結ぶコース(ライン)の設定を位置付け、取り組んでいる。 このため、ご提言の趣旨につきましましては、行動計画の上記項目に含まれているものと考えている。</p>	県土

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

番号	基本目標	投稿方法	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
5	基本目標7 宝の島・創造 とくしま	目安箱	<p>○徳島アニメ祭り マチ☆アソビについて 徳島がアニメで盛り上がることは喜ばしい。一方でアニメの中でも偏ったジャンルとなるため、子どもから大人まで楽しめる内容になっていない。このため、例えば、新町橋通りをドラえもんやクレヨンしんちゃん等各世代に支持されているアニメの山車によるパレードや往年のアニメソングのコンサート等の工夫を凝らす必要があるのではないかと。</p> <p>また、アニメ祭りが県西部でも行われたのは良いことだが、県南にも波及させる工夫を凝らして欲しい。</p> <p>三好市山城町はこなきじじいに由来する妖怪にまつわるイベントや、徳島市や藍住町、美馬市脇町、つるぎ町貞光では古い町並みや城跡を利用した、戦国幕末イベントも開催すべきと思う。</p> <p>せつかくのイベント、一部の限られたアニメジャンルだけでなく、幅広い支持の得られる内容に育てることで、より多くの成果が生まれる。</p>	<p>「マチ☆アソビ」は、アニメ制作スタジオ「ユーフォーアニメーション」と県等がタイアップし、同社が制作した原画等、普段は目にすることのできない作品群を始め、他作品の展示や著名人の招聘を核としたアニメイベントであり、徳島市中心市街地を舞台に、春・秋の年2回開催しており、平成21年10月の第1回目からこれまで、計258,000人の参加実績をあげている。</p> <p>本イベントは20代以下の若者を中心に、出演者との近い距離感や旬のアニメ作品を題材とした企画がファンの人気を呼び、高いリピーター率を誇るイベントであるが、昨年5月に開催された「マチ☆アソビ」では、ユーフォーアニメーションにて懐かしのアニメ（銀河鉄道999）が上映されるなど幅広い世代を対象にしたイベントや、秋の「マチ☆アソビ」にて空の玄関・徳島阿波おどり空港をアニメジャックするなど徳島市以外の企画も実施しており、今後もこれまで以上に多くのの方に愛されるイベントを目指し取り組みで行く予定である。</p>	商工